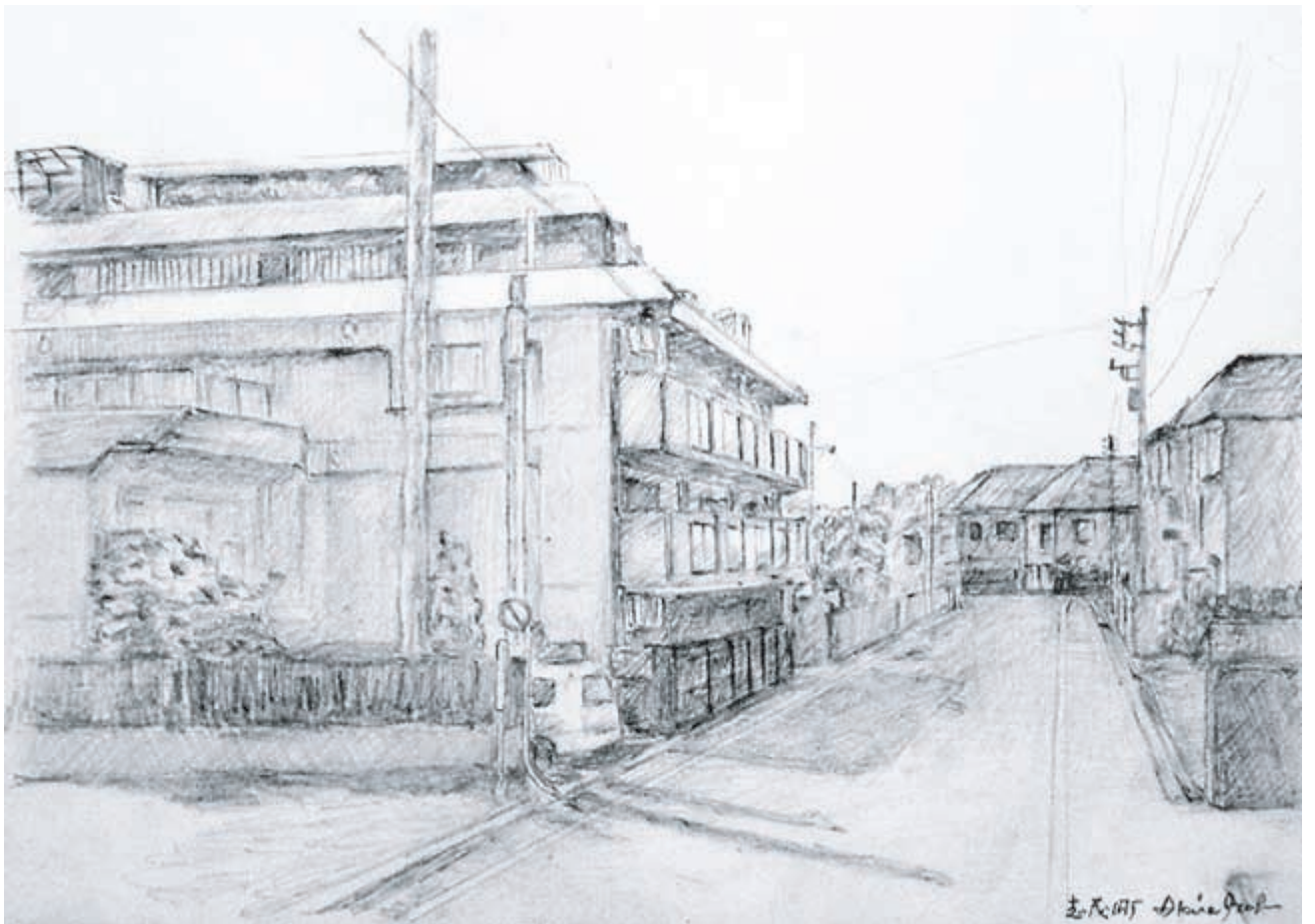


# 第2章

# 公民館 10年のあゆみ





## 1 保育室併設講座と公民館

### 保育室併設講座のあゆみ

親はいつの時代にも、悩み迷いながら子育てをしている。特に現在の親は常により良い子育てを考えているが、育児書やあふれる関連記事に振り回される中で、一方的な情報による子育て自体に限界があることにも気づいている。

公民館では、こうした悩みを抱えながら育児をしている親を対象にこの保育室併設講座を開催している。まさに公民館の歴史と共に歩みを続けている。

親は学習室で学び、子どもは保育室で異年齢集団の中で過ごす。親と子が密接に関わり合う生活の中では見えなかったことが見えてくる。これを“育ち”と称すると、子どもの育ちから親は自分の子育てを振り返る。この振り返りを通した気づきが、親同士の学習の中で、夫と自分の関係、子どもと夫のこと、さらに自分の生き方までも考え合うきっかけとなる。

テーマについては、時世を反映している。

子育てを母親だけが担うものとする世の中の風潮を考えるとといった女性問題に関する事。いじめや不登校を視野に入れた子育てに関する事。何を食べるか、どうやって食べるかといった食や食卓についてと生活リズムに関する事。家族とのかかわりや自分のこれまでを思い起こしながら世の中に一冊という貴重な絵本を作るということ。ここ数年では、これからどう生きていくのかを問うものや、妊娠、出産を語り合う中から親と子の絆を見つめ直すものなど、さらに一段深く自身の内面に問いかけるものが出てきた。

講座の開催にも変化が見られる。それまでは前期後期の中間期だった白梅分館での開催時期を他の館と足並みを揃える

ようにして受講機会の公平性の確保を図った。

学習スタイルでは、講師の話を中心に講座を進める伝達型から、参加者が話をする中で気づいたことを取り上げてみんなで考え合うという対話型を取り入れることを始めた。さらに、講座を体験してもっと学びたいという親の意欲に応えられるように、それまでの「初心者優先」の枠とは別に「経験者優先」のステップアップ講座の開催にも踏みきった。

そのほか、講座の内容に見合うカリキュラムの設定を講座ごとに考えるという柔軟な対応を始めたことなども見逃せない。

いま、子育て中の親にとって、児童館、体育館、保健センター、公民館、図書館など子どもと一緒に過ごす場所や機会は多種多様である。情報量もネットワークも拡大しているために、親たちは早めに年間の計画を立てて年度当初には活動を始めていることが多い。公民館のこの講座が選択肢の一つとして肩を並べるためには、年間計画の発表の時期を考慮することや他の施設との連携を図ることが大切である。

2007.3 金曜後期保育室&講座を終えて

## 公民館の保育室事業を担う保育者として

佐々木 京子・會田 ゆき子

### はじめに

福生市の公民館で保育室事業が実施されて30年を迎えました。現在、本館・松林分館・白梅分館の3館で、年間5コースの保育室併設講座が行われています。「子どもと母親が共に成長する場」として、公的教育機関である公民館が、若い子どもを持つ母親たちの学習を保障してきました。

### 社会状況をみると

現在、高齢化・少子化が進み核家族が増える中で、地域のつながりも少なくなっています。また物が豊かになった反面、食の安全や温暖化による地球規模での自然環境問題を考えなければならない社会になっています。

国による子育て支援政策が行われ、福生市においても、児童館や保健センター、社会福祉協議会では子育て支援の場を持ち、幼稚園や保育園でも時間外保育や一時預かりの場を増やしてきました。母親を「ほっとさせよう」、「ひとりで孤独な育児にさせまい」という目的に沿ってこのような場が考えられています。雑誌・テレビなどのメディアも父親の育児参加を大きく取り上げるようになってきました。

最近の父親たちは、バブルが崩壊したあとのつけを取り戻すように、長時間労働で帰宅時間が遅かったり、休日出勤など厳しい勤務状況にあります。休みの日には育児に参加しようと努力している姿も垣間見ることができます。

しかし、平日は母子家庭の状態にあることは依然変わらないのではないのでしょうか。

多くの女性が結婚することにより新しい土地に住み、地域ともなじみのない中で子育てが始まります。核家族で育ち親になった場合、出産して初めて赤ちゃんを抱くこともめずらしくありません。我が子とどう向き合ったらよいのか戸惑い、良い母親になることに必死になりストレスを感じているのではないのでしょうか。そうして追い込まれた母親たちが育児ノイローゼや児童虐待により、子ども達をも厳しい状況に追い込んでしまう、というニュースを聞く度に胸が痛くなる思いがします。

### 現在の保育室

保育室併設講座には、年間を通し多くの親子が通ってきます。母親は講座室で学習をし、子ども達は保育室で毎回決まった仲間や保育者（子ども達にはおばちゃんと呼ばれている）と過ごします。初めは子どもと不安そうに別れた母親が、子どもを預けることによって「自分でなければ」という思いから解き放たれ、仲間の中で変化・成長していくことに気づいていきます。

子どもにとっても、最初は保育室が「母を待つ場所」かもしれません。しかし、保育室でみんなと一緒に遊んでいると、例えばおもちゃを「貸して欲しい」、「貸せない（いやだ）」など、自分がどうしたいのかがハッキリ見えてきます。自分の気持ちを伝えたり、「貸してもらってうれしい」など、仲間との関わりを通して相手の気持ちを受け止めたりするようになると、「いっしょにいることが楽しい」、「この子と遊びたい」という思いがふくらんで来るのです。保育室が「お母さん

を待つ場所」から「自分の場所」へと変わります。

このような保育室での具体的な子どもの変化を「たより」を通して伝え、母親が子育てや生き方を問い直すような学習の契機となるように努力をしています。

母親たちも、講座で学んでいくうちに自分の意見を述べ、周りの人の意見を聞くことにより、ハッキリと自分自身が見えてくるのです。そうした変化を共に学ぶ仲間・職員・保育者に受け止められることで自らの確認ともなり、自信につながっていくのです。

保育室併設講座における母親の学びは、単に知識や情報を得ることだけを目指しているわけではありません。いかに女性問題の視点に立った学習の場としていくかに意味があります。一見、夫の協力もあり、家事育児も楽になったように見える現代でも「男性は仕事、女性は家事育児」という、性別役割分業の意識がいまだ母親たちに見られます。こうした現状には父親の存在も考えずにはいられません。

保育室に子どもを預けることによって、母親たちが自らの問題に気づき、その問題を解決していくためには、一人の社会人として自らと向き合い、主体的に取り組むことが大切になっていきます。

私たち保育者は、母と子の生活が豊かなものになるような保育室活動にしていかなければなりません。子どもを育てることは地域を考えることでもあり、社会を考えることでもあります。

講座を終えた参加者が、自信を持ち、前を向いて歩き出す姿は、子ども達が楽しそうに仲間と共に手をつないで、保育室を出る姿と重なります。市民が主体となり共に学び、考え、期待し合い、楽しさや喜びを共感し合えることで仲間になっていく学習は、大人の

学習として大切なことだと思います。

保育室活動のこれから

公民館の保育室では次の三つを保育目標としています。

- ①子どもの人格を尊重し、人権意識を育てる。
- ②子どもの自立を支える。
- ③子どもの社会性を育てる。

この理念のもと実践していくことが、保育室を便利な託児サービスや子ども一時預かり所にしない、‘公的教育機関として大切な場所’にすることだと思っています。

講座で学んで来た仲間と今後も一緒に活動していきたいという思いから、講座を終えた人達が、ここ10年間でいくつかの自主サークルとなり、現在も続けて活動しています。しかし、保育のあり方もまちまちであり、学習も成り立ちにくいのが現状です。

公民館本館では「保育室連絡会」を、松林分館では「保育室利用者交流会」を定期的で開催し、サークル同士の交流を深めています。

今後はサークルを越えた共通な課題に取り組み、学習を深め、仲間と共に地域のつながりを考え、生き方を学び合う場を持ち続けることは、人が豊かに生きていくために大切なことだと思います。市民の学習権を保障し支えていく公民館として、主催講座と共に自主サークルへの支援を考えていくことが必要だと思います。そして保育室活動をより豊かにするため、福生市にある他の機関とも連携し、より充実するよう努力していきたいと思っています。

これからも、母と子の現状をふまえ、学習の質を高め合うために、保育者として研修を重ね、職員とともに、より良い保育室事業にしていきたいと思っています。



## 「地域に戻るきっかけとなった保育室併設講座」

原島 佳子

私は小学6年生の時に現在の公民館長である伊東さんに勧められ、開館10周年記念誌の原稿執筆をしました（「公民館10年の歩み」p.43）。当時、私は市民である高橋登志江さんの指導による公民館の「子どもクッキングクラブ」に参加していたのですが、その活動は単なる料理教室ではなく、会費の徴収・管理から材料の買出し、皿洗いまで全て子ども達で行うというものでした。また障がい者グループとの交流活動、お年寄りのお宅への慰問、夏は奥多摩で泊まりのキャンプなども行った記憶があります。全てにおいて高橋先生は案を提示するだけで、子ども達を見守ることに徹し、子ども達の自主的な選択を大事にし、企画・実行することを行わせてくれたのです。

クッキングクラブは、高橋先生一人で運営され、対象を小学生と限定されていたため、クラブには“卒業”がありました。先生は「後は自分達で」と私達を自立させましたが、私達は高橋先生を「第二の母」と慕っていましたので、先生によって培われた“生きる力”を存分に発揮し、根気強く交渉し、最後には定期的先生のご自宅へ遊びに行く許可を得たものでした。先生のお宅にお邪魔するときは、電話で相手の都合を聞くこと、家が上がったら最初に仏壇に線香を上げること、お茶とお菓子をご馳走になるときはお皿の用意と後片付けを自分達で行うことなどを約束事とし、先生は私達に実生活においての所作を指導してくださったのです。

しかし、いつしか高橋先生とは疎遠になってしまい、公民館利用においても、実に20年も利用せずに今日までできてしまいました。なぜなのでしょう。それは私達の成長の中で学生生活や就職などをおして、いつしか福生で足を地につけた活動ができなくなり、福生は寝に帰るだけの場所となってしまい、知り合いは他の地域に広がり、そのような生活に何の支障もなく生きていくことができるようになってしまっていたからでした。

でも自分が母親となって福生に生活の拠点を見出そうとした時、その状況は一転し、周りを見渡すと同年代の知り合いはおらず、他の世代の方とも疎遠になってしまっていました。子どもをおして徐々に新しい知り合いは増えましたが、子どもを見守りながらのせわしない会話では、お互いを深く知りあう関係を構築するまでには至らず、私の育児は失望の念に苛まされるものとなりました。その時に出会ったのが公民館の保育室併設講座でした。子どもを単に“一時預け”する場所ではなく、子ども達が“育ち合っていく場”としての保育室に希望を見出し、母親も様々な課題を話し合う相互学習によって様々な気づきと、生き生きと関わる機会をそこに得ることができたのです。

改めて思うのは、子どもは親との関わりだけで人として成長してはいけません。私が高橋先生や沢山の“人”に育てていただいたように、私の子ども達もまた沢山の“人”に育ててもらい、そして私も“人”、いわゆる“地域”になりたいと思っています。これらに気づき、実現しようと活動するきっかけを与えてくれたのが公民館保育室併設講座でした。私は第二の高橋先生となることを目指し、高橋先生と地域に恩返しをしたいと思っています。

## 保育室併設講座を受講して

佐藤 智香子

私は平成17年から18年にかけて、現在4歳の娘と共に保育室併設講座に参加しました。今振り返ってみても、娘にも私にも良い時間だったと感謝の気持ちでいっぱいです。

講座が始まって一番驚いたのは、娘が過ごした保育室での保育内容がとても素晴らしかったことでした。単に母親が学習をする間の保育という意味にとどまらず、子どもの成長する力を信じ、子どもの視線を大切に见守って頂けたことに大変感激したものでした。

保育者の方々は、子どもが親と離れて泣くことや、おもちゃの取り合い等も、困った事と捉えずに、そこから子ども達がどうやって気持ちを立て直して次の一步を踏み出すかという所に配慮して下さいました。我が子だけでなく、子ども達が社会性を持ち、仲間全体で成長していく様子を知ることは私にとって大きな喜びとなりました。

次に、講座そのものについてですが、こちら私にとっては新鮮でした。3回受講した中で、絵本作り講座が1回と、あと2回は育児に関する講座でした。

絵本作りは、ストーリーから始まり製本まで、全てを自分で作る大変な作業でしたが、大変だった分、他では得難いような密度の濃い時間を過ごせたと思っています。先生や仲間達の励ましがなければ、完成させられなかったと思います。みんなで同じ目標に向かって頑張ることの意味を実感しました。

また育児に関する講座では、講師の先生のお話や、一緒に受講した仲間達との意見交換の中から、子育てについてのヒントをたくさん得ることができました。また、自分のこれからの人生についても、じっくり考える機会になりました。毎日が家事と育児でバタバタと過ぎる中、自分の心の中を改めて見直せたのは、本当に貴重なことでした。

平成17年の講座からはサークルも立ち上げ、そのメンバー達とは今も良い関係を築くことができている。やはり、同じ講座に魅力を感じて集まったメンバーは、偶然にどこかで出会う人よりも共通点が多く、それだけ深い話もしやすいように思います。

これからの私は、講座で学ばせて頂いたことを、少しずつでも地域に還元していければと考えています。福生での子育てを、より楽しいものにするために、何か私にできることはあるか、あるとすればそれは何か、またどうすれば良いのか…そんなことを考えながら、少しでも地域に貢献できる人になれたらと思います。こんな風に考えられるようになるなんて、保育室併設講座に参加する以前には思ってもみなかったことです。講座に参加したところから、私もやっと地域に溶け込むことができたという気がしています。

これからもこの講座が、福生のお母さん達にとって大切なものであり続けることを願っています。

## 1997（平成9）年度

| 講座名            | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                     |    |
|----------------|--------|----|----------|------------|------------------------|----|
| 幼い子を育てる人のための講座 | 5月～9月  | 15 | 大人<br>子供 | 150<br>165 | 性別役割分業を超えた子育てのあり方を考える  | 本館 |
| 育児をしている人の講座    | 10月～3月 | 20 | 大人<br>子供 | 240<br>300 | 仲間と話し合う中から身近な問題の解決策を探る | 本館 |
| 手づくり絵本         | 5月～9月  | 18 | 大人<br>子供 | 180<br>120 | 絵本づくりを通して子どもとの関係を考える   | 松林 |
| 乳幼児の発達・発達の筋道は  | 11月～2月 | 12 | 大人<br>子供 |            | 人間らしく育つために必要なことを考える    | 松林 |
| 家庭内のゴミとリサイクル   | 11月～3月 | 16 | 大人<br>子供 | 96<br>96   | 家庭で出来ることから環境問題を考える     | 白梅 |

## 1998（平成10）年度

| 講座名            | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                      |    |
|----------------|--------|----|----------|------------|-------------------------|----|
| 幼い子を育てる人のための講座 | 6月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 120<br>180 | 性別役割分業を超えた子育てのあり方を考える   | 本館 |
| 子どもの生活リズムを考える  | 10月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 94<br>180  | 生活リズムと子どもの成長の関わりを考える    | 本館 |
| 乳幼児の成長と発達      | 6月～12月 | 20 | 大人<br>子供 | 280<br>300 | 母親の社会的な関係と子どもの育ちの関連を考える | 松林 |
| 手づくり絵本講座       | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 225<br>165 | 絵本づくりを通して子どもとの関係を考える    | 松林 |
| 子育ての日常環境を考える   | 9月～2月  | 18 | 大人<br>子供 | 126<br>90  | 子どもを取り巻く身近な環境を考える       | 白梅 |

## 1999（平成11）年度

| 講座名          | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                    |    |
|--------------|--------|----|----------|------------|-----------------------|----|
| 子どもの食事と育児    | 6月～11月 | 15 | 大人<br>子供 | 118<br>118 | 食事を中心に育児を通して見える課題を考える | 本館 |
| 育児は母親のしごと？   | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 165<br>185 | 母と子の関係、夫との関係、人間としての自分 | 本館 |
| 乳幼児期の成長と発達   | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 90<br>90   | 子どもの人格形成と夫との子育て       | 松林 |
| 手づくり絵本講座     | 11月～3月 | 17 | 大人<br>子供 | 136<br>102 | 私の時間を持ってない日常を振り返る     | 松林 |
| 子どもの食事「好き嫌い」 | 6月～12月 | 16 | 大人<br>子供 | 137<br>96  | 家族の食生活と子どもの食事を考える     | 白梅 |

## 2000（平成12）年度

| 講座名                    | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                   |    |
|------------------------|--------|----|----------|------------|----------------------|----|
| ミニコミ誌づくり 書くって汗と恥をかくこと？ | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 128<br>115 | 自己表現力を養い社会への関心を高める   | 本館 |
| 育児は母親のしごと？             | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 188<br>173 | 子育ての現状、夫との関係、自己のあり方  | 本館 |
| 手づくり絵本講座               | 5月～10月 | 17 | 大人<br>子供 | 238<br>225 | 育児期の母親が社会性を回復するために   | 松林 |
| 乳幼児期の成長と発達             | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 195<br>255 | 母子密着が子どもの成長にもたらすもの   | 松林 |
| 子どもの育ちと仲間作り            | 9月～12月 | 14 | 大人<br>子供 | 160<br>186 | 食生活が子どもの育ちに及ぼす影響を考える | 白梅 |

## 2001（平成13）年度

| 講座名                 | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                    |    |
|---------------------|--------|----|----------|------------|-----------------------|----|
| 子どもの生活リズムー食べる・遊ぶ・眠る | 6月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 75<br>75   | 子どもの生活リズムの乱れについて考える   | 本館 |
| 育児は母親のしごと？          | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 136<br>146 | 子ども・夫との関係から自己のあり方を考える | 本館 |



|            |        |    |          |            |                       |    |
|------------|--------|----|----------|------------|-----------------------|----|
| 乳幼児期の成長と発達 | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 105<br>120 | 乳幼児の成長・発達の筋道を学ぶ       | 松林 |
| 手づくり絵本講座   | 10月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 210<br>195 | 思いを絵本に託し、自分自身の育児を見直す  | 松林 |
| 子育てに学ぶ     | 9月～12月 | 14 | 大人<br>子供 | 59<br>59   | 親・家族・家庭と子どもの成長・発達を考える | 松林 |

## 2002（平成14）年度

| 講座名                | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                       |    |
|--------------------|--------|----|----------|------------|--------------------------|----|
| 子どもの食事・育児・生活リズム    | 5月～10月 | 16 | 大人<br>子供 | 166<br>165 | 子どもを取り巻く環境を社会的視点で捉える     | 本館 |
| ママの生き方カッコいい！といわれたい | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 162<br>176 | 自分らしい生き方を「働く」ことを通して考える   | 本館 |
| 手作り絵本を作る           | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 180        | 母子分離によって親も子ども人間的な成長を獲得する | 松林 |
| 乳幼児と成長発達を考える       | 10月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 180<br>176 | 「人間」になるための成長と親自身の自立を考える  | 松林 |
| 子育てと家庭の役割          | 9月～12月 | 15 | 大人<br>子供 | 94<br>111  | 親の関わりと子どもの成長・発達を学ぶ       | 白梅 |

## 2003（平成15）年度

| 講座名        | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                        |    |
|------------|--------|----|----------|------------|---------------------------|----|
| 子育てと生活リズム  | 6月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 105<br>143 | 子どもの食事・生活リズムを社会的視点で捉える    | 本館 |
| だって人間なんだもん | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 170<br>170 | 既成概念から解放されて子どもを受け入れること    | 本館 |
| 手作り絵本を作る   | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 210<br>176 | 育児期の母親が閉ざされた社会性を回復すること    | 松林 |
| マリオネット     | 10月～2月 | 15 | 大人<br>子供 | 270<br>121 | マリオネットづくりの体験を通して活動する力をつける | 松林 |
| 子育てと私のこれから | 9月～12月 | 15 | 大人<br>子供 | 131<br>144 | 日常生活を見つめ直し改めて自分自身を考える     | 白梅 |

## 2004（平成16）年度

| 講座名               | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                     |    |
|-------------------|--------|----|----------|------------|------------------------|----|
| 親になるってどんなこと？      | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 193<br>209 | 悩みや不安を共有して安心して子育てを     | 本館 |
| たべるよるこびみつけよう！     | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 182<br>190 | 食事を大切に考えることは人間性を育てること  | 本館 |
| 人形をつかって           | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 88<br>76   | 人との交流から社会性を学び活動する力をつける | 松林 |
| 手作り絵本教室           | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 228<br>190 | 今の想いを絵本に残して未来の子どもに伝えよう | 松林 |
| 子どもと私のより良い明日をめざして | 9月～12月 | 15 | 大人<br>子供 | 121<br>147 | 子どもたちの現状を知り健やかな育ちを考える  | 白梅 |

## 2005（平成17）年度

| 講座名                | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                      |    |
|--------------------|--------|----|----------|------------|-------------------------|----|
| 私のライフプラン作り         | 6月～11月 | 15 | 大人<br>子供 | 94<br>85   | 地域に根付いて生活していくことを目指す     | 本館 |
| 食べるよるこびみつけよう！      | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 166<br>195 | 心とからだ、命を育む食について考える      | 本館 |
| がんばり過ぎない子育てを       | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 148<br>133 | 育児を抱え込まないで仲間、家族、地域で考える  | 松林 |
| 手作り絵本教室            | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 208<br>188 | 今の想いを絵本に残して未来の子どもに伝えよう  | 松林 |
| 原点から見つめ直そう親と子のつながり | 9月～12月 | 15 | 大人<br>子供 | 178<br>216 | 胎内に宿った時に遡って子どもとの関係を考え合う | 白梅 |

2006（平成18）年度

| 講座名                  | 実施期間   | 回数 | 人数       | 内容         | 主催                      |    |
|----------------------|--------|----|----------|------------|-------------------------|----|
| 心地よい食卓作り             | 6月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 169<br>149 | 家族の関わりを食卓を囲むという視点で考える   | 本館 |
| どうしたらいいの？絵本、おもちゃ、テレビ | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 193<br>207 | 子育てをめぐるメディアとのかかわりを考え合う  | 本館 |
| こんなはずじゃない・・・         | 5月～10月 | 15 | 大人<br>子供 | 216<br>214 | 子育てに携わって見えてきた理想と現実      | 松林 |
| 手作り絵本教室              | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 193<br>192 | 今の想いを絵本に残して未来の子どもに伝えよう  | 松林 |
| 「母親業は十年一日のごとし」を問い直す  | 11月～3月 | 15 | 大人<br>子供 | 161<br>185 | 昔も今も変わらない子育て期の女性の悩みを考える | 白梅 |



高橋 靖子さん

## 2 青少年と公民館

### 青少年事業のあゆみ

創作なかま (2004.7)

かつての福生の子ども達にとっては、多摩川の河原や野原、時には路地などが自分たちの遊び場であった。そして、地域の中で小さい子どもから大きな子までの異年齢の集団を形成し、遊びを通して楽しさを共有し、様々な経験を積んでいった。この遊びの世界は子どもの文化を伝達してきたとともに、子ども達の発達を支えてきた大事なものであった。

1970年代の後半から、こうした子どもの世界が大きく変化していった。都市化の波は次第に子ども達から自由に使える空間や遊び場を奪い、また遊び場が狭まるにつれて群れて遊ぶ遊びがなくなっていき、子ども達の仲間関係も急速に狭まっていく。子どもたちはたいてい遊ぶ約束をして放課後その約束した子どもと遊ぶ時間を持つ、というように遊ぶ時間も細切れ、遊ぶ仲間も細切れという状況となってしまった。

さらに塾や習い事に時間を費やす子どもが増加し、約束しないと遊べないということが当然となるが、テレビやゲーム機の普及によって一人で遊ぶことができるようになると、遊び相手を求め仲間関係を築いていく力がさらに弱まっていく。また携帯電話やメールなどの情報技術が発展すると、時間や場所という制約なく情報を共有してい

くことができるようになる。しかし、このつながりは顔が見えない一方通行のつながりであり、自分や相手の感情を感じ取る相互通行の人間関係ができにくい。遊び場がない、



夏休み創作講座「石を使って工作しよう」の作品から(2002.8)

遊ぶ時間がない、人間関係を築く力が萎えている、こうした子どもたちが携帯電話を当たり前を持つような時代が目前に迫っている。公民館が行う子ども事業の取り組みがめざすものは、現代に生きる子どもたちが、自らが主体となって地域の中で異年齢の集団を再構築していく力を獲得することである。

公民館本館が子どもを対象に継続して取り組む  
夏休み自然体験教室 (2005.8)





青年演劇教室公演ポスター（2000.3.19）

んでいる事業として、自然体験教室があげられる。

この講座はキャンプなどの共同生活体験を通して、生活技術の獲得や仲間と協力しながら物事をすすめる力を身につけることを主な目的としている。遊びを通じた異年齢の仲間関係を築き、子ども同士が共通の生活体験を通じてその関係を深めていくということを目指してきた。参加者として関わってきた子ども達がこの教室のサポートへとまわるようになると、縦の異年齢の関係をさらに深めるために2001（平成13）年にはジュニアリーダー会講座が開催される。しかしこのリーダー会は2003（平成15）年で途切れてしまう。その原因として中心として関わっていた人が学校の卒業等により地域から離れてしまったこと、また職員の異動にともない人脈が切れてしまったことがあげられる。

現在この教室に3年4年と長く関わる子ども達が増えてきており、この子ども達を中心となっ

#### 子どもキャンプ教室



サタデーレク教室の様子と作品（2002.12）





白梅分館が開館した当時は、児童館の機能を持つ会館がないため、積極的に子どもを対象とした事業が行われてきた。「将来の福生を担う地域に生きる人間を、公民館で遊んだり地域のことや仲間関係のことを学習する機会を、子ども時代から公民館にやって来ることを通して身につけて」いくことを主眼に様々な子ども対象事業が行われてきた。1985（昭和60）年からは、市内の多摩川や林の植物調査や野鳥の観察をとおして、身近な自然のあり方や自然との関係を知る機会としてたんけん教室が開催され、2001（平成13）年までの17年もの間継続して取り組まれてきた。担当職員の異動に伴い子どもを対象とした講座はほとんど行われなくなった。しかし、2006（平成18）年度には新たな取り組みとして、農業体験と食生活体験を組み合わせた「子どものための食育講座」が開催されている。

#### 子どもキャンプ教室（2002.

て新たな異年齢集団を形成していくことが期待される。

松林分館では、その存在を地域に知ってもらうこと、地域に子どもに関するものがないという理由で、子どもを重視した事業が継続して展開されてきた。異年齢で遊べる機会と場を積極的に利用し仲間との共同作業をやり遂げるという過程で、子どもの自治能力を培っていく講座、子どもの生活体験が極端に少なくなっている中で、子どもの手労働や手わざを獲得し文化として伝えていくことを目指した講座、地域を科学的に分析検証できる力をつける講座といった3分野の講座が行われてきた。この取り組みは、現在ではそうさく仲間、たんけん仲間という形で引き継がれている。

## 私が公民館へ来るきっかけ

野村 亮

私と公民館との出会いは、小学校2年生の時、野鳥観察会へ参加したことがきっかけでした。

同級生から「野鳥観察会がおもしろかったから一緒に行こうよ」と誘われて参加しました。2年生の時は親と一緒にでしたが、3年生の時は一人で参加しました。

当時、この講座は、スタッフみたいな感じでIさんが企画をされていて、職員のKさんがそばにいたのではないのでしょうか。

その後、Iさんは公民館職員になるのですが、福生自然観察グループというサークルを行っていたので、そのグループで山に行く、鳥を見に行くのに誘われて、いつのまにかグループのメンバーになっていました。公民館事業とかサークル活動とか、そういったものに興味があったわけではなく、あそこにいけば鳥のことをいろいろと教えてくれるだろうからと、個人的な鳥に対する興味でつながっていたのでした。こうしたことからIさんとの個人的なお付き合いが始まりました。

Iさんの主催する講座が鳥から自然のこと、環境のことへと広がっていくのですが、私の関心事をたまたま事業として行ってくれたので、こうした講座に参加するようになりました。

最初は鳥に興味を持ち、のめりこんでいくにつれて、もっと知りたいという気持ちから図鑑を見て自分で調べたり、人から聞いたり

と興味を深めていきました。しかし、なんでそうのめりこんでいったのかというと、実はそれなりのきっかけがあったのです。

自然観察グループには、鳥や昆虫といった先生役の人が参加していました。そういう人達が、もっと関心がわくような言葉をかけてくれたと思うのです。ほとんどのことは覚えていないのですが、はっきりと覚えているのは「翼鏡」という言葉です。鴨には光る羽があり、その色が種類によって違い、区別するポイントだ、ということです。

子どもである私にとって、こうした専門用語は、他の人が知らないこと、大人の世界でしか知ることができないことであって、そのことを教えてくれたということが、すごく背伸びしたような、特別扱いされたような気がしました。このように声がけしてくれたことで、知的好奇心をくすぐられると同時にメンバーの一員として認めていただいた気がしました。大人と一緒に見られているということが、とてもうれしかったんだと思います。

こうして、Iさんとののかかわりを通して、はじめは鳥への興味関心から、公民館事業への参加、サークルへの参加と広がっていきました。Iさんが白梅分館に移ってからは、毎日のように公民館がIさんを慕う人の溜まり場になっていました。入口の小さいテーブルに四つぐらいの椅子を毎日のように占拠して、何をするというわけでもなくただ集まって話

をしていました。当然、地域の施設として地域の中にあるので、ご近所の方も利用するわけです。今から思うと嫌がっている人もいたのではないのでしょうか。

ただIさんの仕事の邪魔をしていたのですが、自分たちが集まると、Iさんはお茶を出し、一緒に話をしてくれました。お互いに話しやすい関わりというか、個人的なつながりというか、信頼関係を大事にしていたという気がしました。

福生自然観察グループのメンバーはもともとは福生の人で構成されていましたが、福生から引っ越して行く人もおり、年を重ねるにつれてメンバーも高齢化していきました。グループメンバーが固定化し、全体的に年齢が上がってしまいました。このままだとグループが自然に消滅してしまうかもしれないという危機感がありました。

それまで上の世代から教えてもらったもの

を受けのばかりでなく、下の世代に還元していく、そういう役割を私たちが担わなければいけないのではないかという責任を感じ始めました。またIさんがこの時期に公民館職員でなくなってしまい、公民館の事業として自然かんさつ会ができなくなってしまいました。こうしたことから、それまで公民館の事業で行っていた自然環境の部分の担い手をその目的の一つとしてNPO法人自然環境アカデミーを立ち上げることとなりました。

人と人の豊かな関係が信頼関係を築いていく、このことをIさんとの関わりを通して学んでいきました。これからはこのアカデミーの活動を通じて、時には公民館や市の部署との協働事業を通して、豊かな人間関係を作っていく、自分たちが受け継いだ智恵や知識を次世代へと渡していきたいと考えています。

## 1997（平成9）年度

| 講座名                     | 実施期間   | 回数 | 人数   | 内容  | 主催 |
|-------------------------|--------|----|------|---|----|
| 子どもキャンプ教室               | 7月～9月  | 8  | 164  | キャンプを通して互いに学び信頼しあえる異年齢集団をつくる                                | 本館 |
| 児童合唱教室                  | 4月～3月  | 54 | 2376 | 子どもの合唱活動を組織化し、合唱団を形成することを目的とした                              | 本館 |
| 子ども教室（父母会2回含む）          | 5月～12月 | 29 | 996  | 遊びを通じた地域の異年齢集団の形成、子どもの自治能力を培う                               | 松林 |
| 子ども教室リーダー会「すんばらしいリーダー会」 | 4月～12月 | 60 | 840  | 子どもの文化活動に関心をもつ青年や大人を組織的につなげていく                              | 松林 |
| 夏休み子ども創作教室「お面をつくる」      | 8月     | 3  | 30   | 手の器用さ、モノ創りの創造性を培う   | 松林 |
| 劇団ファンタスティック             | 4月～9月  | 20 | 80   | 1986年の子ども教室から出発し、子どもの自治的な運営を大切にしながら運営                       | 松林 |
| しぜんたんけん隊'97             | 4月～4月  | 23 | 339  | 異年齢集団で、近隣の多摩川や滝山丘陵で遊びや共同・協力する直接体験を通して、人・自然に対して豊かな感性を育む機会とした | 白梅 |
| 夏休み昆虫をさがそう              | 8月     | 5  | 31   | 河原の昆虫を観察し、昆虫生息環境との人間との関係を考える                                | 白梅 |
| フリーライミング教室              | 1月～3月  | 13 | 130  | 参加者同士の協力のもと、仲間意識を高め地域の中で市民に積極的に働きかける意識を持つ                   | 松林 |

## 1998（平成10）年度

| 講座名                | 実施期間  | 回数 | 人数  | 内容  | 主催 |
|--------------------|-------|----|-----|---|----|
| 子どもキャンプ教室          | 7月～9月 | 8  | 164 | キャンプを通して各自の役割を助け合い協力しあって生活する中で、互いに学び信頼しあえる異年齢集団をつくる         | 本館 |
| 子ども教室（父母会1回含む）     | 5月～9月 | 20 | 800 | 遊びを通じた地域の異年齢集団の形成、子どもの自治能力を培う                               | 松林 |
| 子ども教室「すんばらしいリーダー会」 | 4月～2月 | 48 | 500 | 子どもの文化活動に関心をもつ青年や大人を組織的につなげていく                              | 松林 |
| 子ども創作教室            | 8月    | 4  | 40  | 手を使い物をつくり出す世界が非常に狭くなっている中、日本の文化的伝を通して手の巧みさを復活させていく          | 松林 |
| 夏休みおもしろ科学クラブ       | 8月    | 4  | 52  | 仮説実験事業を中心に、考える科学実験教室を、子どもの身近な生活の中からとりあげた                    | 松林 |
| しぜんたんけん隊'98        | 4月～4月 | 19 | 231 | 近隣の多摩川や滝山丘陵で、ほぼ同年代の仲間と自然の中で直接体験を通して感性を育む機会とした               | 白梅 |
| 夏休み昆虫をさがそう         | 7月～8月 | 6  | 32  | 河原の昆虫を観察し、昆虫生息環境との人間との関係を考える                                | 白梅 |
| 青年演劇講座             |       | 21 | 546 | 演劇を通して集団の中で自己を表現し、自分を見つめなおす機会としましたより多くの市民へ演劇に対する理解を深める機会とした | 本館 |

## 1999（平成11）年度

| 講座名       | 実施期間  | 回数 | 人数  | 内容                                  | 主催 |
|-----------|-------|----|-----|-------------------------------------|----|
| 子どもキャンプ教室 | 7月～9月 | 9  | 187 | 子ども同士が遊びや寝食を共にすることにより、各自の役割を責任持って行う | 本館 |



|                    |       |    |      |  |    |
|--------------------|-------|----|------|--|----|
| 子ども教室(父母会1回含む)     | 5月～1月 | 20 | 400  | 遊びを通じた地域の異年齢集団の形成、子どもの自治能力を培う                    | 松林 |
| 子ども教室「すんばらしいリーダー会」 | 5月～3月 | 77 | 1078 | 子どもの文化活動に関心をもつ青年や大人を組織的につなげていく                   | 松林 |
| 夏休み子ども創作教室         | 8月    | 3  | 24   | 手労働の大事さ、手の器用さを張り子という伝統的な文化を通して木の枝、ひも、和紙等を使って創作した | 松林 |
| 夏休みおもしろ科学クラブ       | 8月    | 4  | 44   | 具体的な事物をとおして考えたり推理しながら、科学的認識を体験する場を作っていく          | 松林 |
| しぜんたんけん隊'99        | 5月～4月 | 24 | 169  | 近隣の多摩川や滝山丘陵で、同年代の仲間と自然の中で直接体験を通して完成をはぐくむ機会とした    | 白梅 |
| 夏休み昆虫博士になろう        | 7月～8月 | 5  | 21   | 河原の昆虫を観察し、昆虫生息環境との人間との関係を考える                     | 白梅 |
| 青年演劇講座             | 9月～3月 | 30 | 870  | 演劇を通して集団の中で自己を表現し、自分を見つめなおす機会とする                 | 本館 |

## 2000(平成12)年度

主催

| 講座名                | 実施期間   | 回数 | 人数  | 内容  | 本館 |
|--------------------|--------|----|-----|---|----|
| 子どもキャンプ教室          | 7月～8月  | 9  | 216 | 学区を超えた友達関係、異年齢集団づくりを目指して実施                    | 本館 |
| 中学生のためのディベート入門講座   | 7月～8月  | 4  | 12  | 物事を論理的にとらえ、組み立ていく力を培う                         | 本館 |
| 子ども教室              | 6月～9月  | 16 | 496 | 遊びを通じた地域の異年齢集団の形成、子どもの自治能力を培う                 | 松林 |
| 子ども教室「すんばらしいリーダー会」 | 4月～3月  | 51 | 561 | 子どもの文化活動に関心をもつ青年や大人を組織的につなげていく                | 松林 |
| 夏休み子ども創作教室         | 8月     | 3  | 27  | 樺の枝を材料にしながら日本の伝統的技法であるハリコの技術を使ってものづくりをした      | 松林 |
| 夏休みおもしろ科学クラブ       | 8月     | 4  | 40  | 仮説実験や科学遊びを通して科学の面白さを体験する機会とした                 | 松林 |
| しぜんたんけん隊'00        | 5月～3月  | 10 | 95  | 近隣の多摩川や滝山丘陵で、同年代の仲間と自然の中で直接体験を通して完成をはぐくむ機会とした | 白梅 |
| 夏休み昆虫博士になろう        | 7月～8月  | 5  | 24  | 市内公園、多摩川原の草原で昆虫を観察                            | 白梅 |
| 青年演劇講座             | 6月～12月 | 20 | 440 | 演劇を通して集団の中で自己を表現し、自分を見つめなおす機会とする              | 本館 |

## 2001(平成13)年度

| 講座名                  | 実施期間   | 回数 | 人数  | 内容                                  | 主催 |
|----------------------|--------|----|-----|-------------------------------------|----|
| 子どもキャンプ教室            | 7月～8月  | 8  | 207 | 学区を超えた友達関係、異年齢集団づくりを目指して実施          | 本館 |
| 子どもキャンプ教室「ジュニアリーダー会」 | 6月～8月  | 10 | 61  | 子どもキャンプ教室の運営や指導などをになうリーダー育成を目的として実施 | 本館 |
| 夏休み創作講座「石を使って工作しよう」  | 8月     | 3  | 74  | 身近に存在する多摩川の石を使って参加者各自がテーマをもって創作     | 本館 |
| 子ども教室01              | 5月～11月 | 26 | 780 | 遊びを通じた地域の異年齢集団の形成、子どもの自治能力を培う       | 松林 |
| 子ども教室「すんばらしいリーダー会」   | 4月～11月 | 52 | 524 | 子ども教室の指導、父母会の開催、活動記録作成、リーダー新聞の発行    | 松林 |

|                 |        |    |     |  |    |
|-----------------|--------|----|-----|--|----|
| 夏休み子ども草笛講座      | 7月～8月  | 5  | 21  | 草笛を通して自然とのふれあいや異年齢の交流を目的とした                              | 松林 |
| 夏休み子ども創作教室      | 8月     | 3  | 36  | 工夫しながら「切る、つなぐ、結ぶ、貼る」と作業を経験できるものとして日本の伝統的な張子を素材に大きなお面を作った | 松林 |
| 夏休み子どもおもしろ科学クラブ | 8月     | 4  | 40  | 仮説実験や化学遊びを通して科学の面白さを体験する機会とした                            | 松林 |
| 中学生茶道講座         |        | 3  | 47  |  | 本館 |
| 青年演劇講座          | 6月～10月 | 26 | 598 | 演劇を通して集団の中で自己を表現し、自分を見つめなおす機会とする                         | 本館 |

## 2002（平成14）年度

| 講座名                      | 実施期間   | 回数 | 人数  | 内容  | 主催 |
|--------------------------|--------|----|-----|---|----|
| 夏休み自然体験教室                | 7月～8月  | 8  | 140 | 学校を越えた仲間づくり、異年齢集団づくりを目的として実施                              | 本館 |
| 夏休み自然体験教室ジュニアリーダー会       | 6月～8月  | 11 | 27  | 夏休み自然体験教室の運営や指導などを行うリーダー育成を目指す                            | 本館 |
| 伝承むかし子ども遊び               | 4月～5月  | 4  | 82  | 学校や学年を越えた子ども同士のつながりを促し、地域との関わりを深めるきっかけとした                 | 本館 |
| サタデー子どもレクリエーション講座        | 9月～12月 | 4  | 56  | 学校や学年を越えた子ども同士のつながりを促し、地域との関わりを深めるきっかけとした                 | 本館 |
| サタデー子ども草笛教室（前期）          | 4月～6月  | 6  | 73  | 地域での子ども同士の交流や、自然とのふれあいを視野に行った                             | 本館 |
| サタデー子ども草笛教室（後期）          | 9月～3月  | 7  | 30  | 地域での子ども同士の交流や、自然とのふれあいを視野に行った                             | 本館 |
| 夏休み創作講座「石を使って工作しよう」      | 8月     | 3  | 105 | 身近に存在する多摩川の石を使って参加者各自がテーマをもって創作                           | 本館 |
| 親子ものづくり講座パートⅠ            | 6月     | 2  | 16  | 親子が一緒に作業しものづくりを行うことで学校五日制のねらいである家庭教育の一助とした                | 本館 |
| 親子ものづくり講座パートⅡ            | 11月    | 1  | 24  | 親子が一緒に作業しものづくりを行うことで学校五日制のねらいである家庭教育の一助とした                | 本館 |
| 親子で楽しく料理しよう              | 10月    | 1  | 28  | 学校5日制に対する取り組みとして保護者と小中学生の組み合わせにより実施                       | 本館 |
| 中学生茶道講座                  | 10月    | 3  | 27  | 作法にとらわれず気軽に参加し、茶会の楽しさを知ってもらう                              | 本館 |
| 子ども教室2002                | 5月～11月 | 27 | 680 | 遊びを通じた地域の異年齢集団の形成、子どもの自治能力を培う                             | 松林 |
| 子ども教室2002「すんばらしいリーダー会」   | 5月～3月  | 60 | 720 | 子どもの遊びや文化活動に関心を持つ青年を子どもたちとつなげていく                          | 松林 |
| 夏休み創作教室「張子で大きなお面と動物を作ろう」 | 8月     | 3  | 27  | 手労働の大切さ、器用さなどを張子という伝統的な日本文化を通して木の枝、紐、和紙を使って創作             | 松林 |
| 夏休みおもしろ科学クラブ             | 8月     | 4  | 36  | 仮説実験や化学遊びを通して科学の面白さを体験する機会とした                             | 松林 |
| たんけん仲間                   | 8月     | 4  | 75  | 生活の一部である市内の公園を中心に、身近な自然を見つけ出し、異年齢集団の中での自分の居場所を見つけ、仲間と散策する | 松林 |
| 夏休みビーズ教室                 | 8月     | 2  | 31  | 夏休みを利用して保護者と子どもが時間を共有し協力して作品を仕上げた                         | 白梅 |

## 2003（平成15）年度

| 講座名                 | 実施期間   | 回数 | 人数  | 内容  | 主催 |
|---------------------|--------|----|-----|---|----|
| 夏休み自然体験教室           | 7月～8月  | 8  | 142 | 学校を越えた仲間づくり、異年齢集団づくりを目的として実施                              | 本館 |
| 夏休み自然体験教室ジュニアリーダー会  | 5月～8月  | 11 | 59  | 夏休み自然体験教室の運営や指導などを行うリーダー育成を目指す                            | 本館 |
| 夏休み子ども草笛教室          | 7月～8月  | 5  | 22  | 地域での子ども同士の交流や、自然とのふれあいを視野に行った                             | 本館 |
| 親子ものづくり講座           | 6月     | 1  | 8   | 親子と一緒に作業しものづくりを行うことで学校五日制のねらいである家庭教育の一助とした                | 本館 |
| 夏休み！親子ものづくり講座       | 8月     | 2  | 16  | 親子と一緒に作業しものづくりを行うことで学校五日制のねらいである家庭教育の一助とした                | 本館 |
| 秋の親子ものづくり講座（竹細工編）   | 11月    | 2  | 15  | 保護者と子どもと一緒にものづくりを行うことで学校五日制のねらいである家庭教育の一助とした              | 本館 |
| 夏休み創作講座「石を使って工作しよう」 | 8月     | 2  | 37  | 身近に存在する多摩川の石を使って参加者各自がテーマをもって創作                           | 本館 |
| 子どもエコ隊              | 5月～12月 | 10 | 60  | 地域の中で生きる子どもたちが、地域の総体を学ぶ                                   | 松林 |
| そうさく仲間              | 7月     | 4  | 32  | 自由作品ともなる自分だけの「動く彫刻」をつくり、達成感を味わうことで自身につなげていく               | 松林 |
| たんけん仲間              | 8月     | 4  | 72  | 生活の一部である市内の公園を中心に、身近な自然を見つけ出し、異年齢集団の中での自分の居場所を見つけ、仲間と散策する | 松林 |
| 夏休みおもしろ科学クラブ        | 8月     | 4  | 20  | 科学の実験、工作の技を身につけ、科学技術の不思議さや楽しさを伝える                         | 松林 |
| 子ども囃子教室             | 6月～9月  | 10 | 80  | 囃子の技術を習得し、仲間作りを通して地域の様々な場面にふれ、その社会性を高める                   | 白梅 |
| 小・中学生陶芸教室           | 8月     | 3  | 18  | 粘土から自分だけの作品を作る手作りの楽しさを体験し、異年齢の仲間とのふれあいを目指した               | 白梅 |

## 2004（平成16）年度

| 講座名                | 実施期間   | 回数 | 人数 | 内容   | 主催 |
|--------------------|--------|----|----|--|----|
| 夏休み子ども草笛教室         | 7月～8月  | 6  | 37 | 夏休みを利用し地域での子ども通しの交流や、自然とのふれあいを視野に入れながら実施           | 本館 |
| 夏休み自然体験教室          | 7月～8月  | 7  | 91 | 学校を越えた仲間づくり、異年齢集団づくりを目的として実施                       | 本館 |
| 冬休み工作教室「竹を使ってあそぼう」 | 12月～1月 | 3  | 6  | 手先の巧みさを獲得するとともに伝承遊びにふれる機会とする                       | 本館 |
| 夏休み親子ものづくり講座       | 8月     | 1  | 15 | 親子と一緒に作業しものづくりを行うことで学校五日制のねらいである家庭教育の一助とした         | 本館 |
| 秋の親子ものづくり講座        | 11月    | 1  | 10 | 保護者と子どもと一緒に作業しものづくりを行うことで学校五日制のねらいである家庭教育の一助とした    | 本館 |
| 春休みバードカービング教室      | 3月～4月  | 4  | 54 | バードカービングを行いながら、野鳥の特徴や生活環境を見て確かな環境認識の一段階とした         | 松林 |
| 模擬国連に参加しよう         | 3月～4月  | 10 | 45 | 福生に在住、在学する高校生の国際感覚を磨き、国際貢献できる人格の形成の一助とした           | 松林 |
| そうさく仲間             | 7月     | 4  | 64 | 物作りや個人の能力を引き伸ばす時間の余裕が減りつつある中、夏休みを利用して自分だけの「お面」を作った | 松林 |

## 2005（平成17）年度

| 講座名                 | 実施期間  | 回数 | 人数 | 内容   | 主催 |
|---------------------|-------|----|----|--|----|
| 夏休み子ども草笛教室          | 7月～8月 | 6  | 74 | 夏休みを利用し地域での子ども通しの交流や、自然とのふれあいを視野に入れながら実施                           | 本館 |
| 夏休み自然体験教室           | 7月～8月 | 6  | 89 | 学校を越えた仲間づくり、異年齢集団づくりを目的として実施                                       | 本館 |
| 夏休み親子ものづくり教室        | 8月    | 1  | 5  | 親子での共同作業の場として、また体験学習の場としてぬくもりのある木のおもちゃをつくった                        | 本館 |
| あそびを発見しよう           | 9月～3月 | 12 | 44 | 青少年の自然体験と若い指導者の育成の機会とした  | 松林 |
| 父の日に贈るフラワーアレンジメント教室 | 6月    | 1  | 17 | 父の日に贈るフラワーアレンジメントを創作した   | 松林 |
| そうさく仲間              | 7月    | 4  | 84 | 物作りや個人の能力を引き伸ばす時間の余裕が減りつつある中、夏休みを利用して自分だけの「お面」を作った時間をかけ木彫りの鳥を完成させた | 松林 |
| たんけん仲間              | 8月    | 4  | 60 | 生活の一部である市内の公園を中心に、身近な自然を見つけ出し、異年齢集団の中での自分の居場所を見つけ、仲間と散策する          | 松林 |

## 2006（平成18）年度

| 講座名          | 実施期間   | 回数 | 人数  | 内容  | 主催 |
|--------------|--------|----|-----|---|----|
| 親子防犯講座       | 7月～8月  | 2  | 19  | 防犯意識の向上とともに協力し合い安全に暮らせるまちづくりを目指して実施               | 本館 |
| 夏休み自然体験教室    | 7月～8月  | 6  | 79  | キャンプなどの共同生活体験を通して、生活技術の習得や仲間と協力しながら物事をするめる力を身につける | 本館 |
| 夏休み子ども映画鑑賞講座 | 8月     | 4  | 20  | 感想文をとおして、どうしたら他人に分かってもらえるかを学ぶ                     | 本館 |
| 遊びを発見しよう     | 4月～10月 | 13 | 138 | 身近な空間で仲間と一緒に新たな経験をつみ、地域の発見や仲間とのコミュニケーションの場とした     | 松林 |
| そうさく仲間       | 7月     | 4  | 59  | 物作りや個人の能力を引き伸ばす時間の余裕が減りつつある中、手先を使う作業を繰り返し経験する場とした | 松林 |
| たんけん仲間       | 8月     | 4  | 60  | 公園を中心に身近な自然を見つけ遊びの中から経験を重ねていく                     | 松林 |
| 子どものための食育講座  | 6月～11月 | 9  | 200 | 子どもを対象とした農業訓練と食生活体験を組合わせた                         | 白梅 |



### 3 女性と公民館

#### 女性対象事業のあゆみ

公民館が開館してからの10年間の女性の活動は、公民館を拠点として女性たちが自らの生活の新たな可能性を見つけ、仲間と共に活動していくことから始まり、女性問題とは何かという学習を経て、女性問題を解決していくための学習・実践へと変わってきていた。

それからさらに10年間は、女性がより輝いて生きていけるように、学習内容も様々なアプローチの方法を取りながら、女性問題の解決をめざした。(あゆみ 福生市公民館開館20周年記念誌より)

開館21年から30年の間は、前半は女性問題解決への講座が多いものの、後半は講座の数が少なくなっているのが現状だ。内容は、前半が女性のからだや生き方、日本女性史、メディア等から女性問題を積極的に考えていく講座が目立つ一方、後半はタイトルや内容に女性問題を前面に出さず、自分の生き方を考えるところから女性問題と結びつける講座が多い。また、女性問題解決よりも、女性を対象にしているだけの講座が見受けられることも事実である。

本館においては、1998(平成10)、99、2000、02、03(平成15)年度に「ふっさ女性フォーラムに向けての学習会」や「ふっさ女性フォーラムをすすめる会」が開催され、ふっさ女性フォーラムへ向けて、実行委員会のメンバーを中心に事前学習会を実施したことが特色である。

松林分館においては、1997(平成9年)度に四つの女性問題講座が開催されているが、翌年からは年間1コースのペースになり、2002(平成14)年度以降は2005(平成17)年度を除き開催されていない。

白梅分館においては、前半は開催されなかった

が、2004(平成16)年度から年間1コースが開催され、「中高年いきいきライフ」は夫の定年を機会にパートナーとの関係を見つめ直す講座で参加者も多かった。

ここ10年の参加者数は、年によって増減はあるが、減少傾向にある。年間の平均参加人数を調べると、一番多い年は2003(平成15)年度の22人。一番少ない年は2001(平成13)年度の4.4人である。2006(平成18)年度には、松林分館で女性問題講座を企画していたが、申込みが少なかったために中止したいきさつもある。

日常に埋もれている女性問題に気づき、公民館で解決に向けての学習をしていくことが望ましいが、参加者数の減少から考えると、市民は女性問題講座を必要としているのだろうか？ 女性問題講座の切り口は様々であるが、市民が本当に必要としている女性問題講座を開催していかなければならない。そのためには、市民の声に耳を傾ける職員の姿勢が必要なのは言うまでもない。

## 女を磨く私の時間

### ～自分のスマイルをトリモドセ！～ の講座に参加して

マグワイヤー文子

長い間、福生と職場との通勤に明け暮れ地域の動きや催し物にも目がむかず、精一杯の日が続いていたが、看護職を退いたことを機会に「さあこれから自分の時間がある」と腕まくり。タイミングよく市報の講座「女を磨く～」のタイトルに魅かれ、特に、「磨く」という文字に、固くてちょっとツンとした響き、何か光がさしてくるような感じがしました。この時、陽だまりでおしゃべりしたい、ぬくもりのような時間を求めている私に、「磨き」という文字が入り込み、それではゆっくり自分をみつめてみようと思い参加しました。

緊張の一日目、不安気な私が教室のドアを開けると講師の林田道子先生はニコニコと迎えてくださり、7人の受講生はすっかり女を磨いた方たちに見えました。この3回の講座で何が起こるのか、何が話されるのか見当がつかません。

まず、自己紹介、自分が人に呼ばれる時心地よい呼ばれかたでどうぞと始まり、また何が好きか等、各々ピアノが好きな人、仏像が好きな人、モーツァルトが好きな人、と聞いてやっぱりみんな磨かれた方達だなど、興奮と関心が入り乱れ、自分は「英語が好きです」とコチコチで言ったのを覚えています。講座の内容は一人ひとり今の気分や気持ちを話し

たり、WEB法という頭の整理法、連想法をつかって紙の真ん中に興味のあることを書き出し、何をしたいか、どうしたいか、に優先順位をつけて自分を知ることから始めました。

看護師としてピンと張り詰めた看護の世界で喜怒哀楽を毎日目にしていた私は、この講座の箇条書きのない内容の雰囲気が好きで、ゆったりした、おだやかな、謙虚な言葉づかいを耳にし、うらやましくもありました。一人ひとりが耳を傾け聞いてくれる。自分だけではない体験、林田先生のまなざしが心強く悩みを何でも話すことができ回数を重ねる毎に、お互いの信頼の輪も広がりみんなに逢える楽しみも、わくわく感も増してきました。

林田先生は一人ひとりの話をゆっくり聞いて、「そんなこと私にもありますよ」「そのままのあなたでOKよ」とか、つまずいたりしたら、急いで結論をださなくてもいい、時間という助けを借りることなど、コミュニケーションの大切さも教えていただきました。

この頃、ゆっくりゆっくり自分に戻る自分を感じ【これはこうでなくては、こうしなくては、こうあるべき】という今までの自分の物差しを捨てることができました。そして、自分との関わりの総べてに優しくなれ、気持

ちも楽になりました。講座が終って1年10ヶ月経ちますが、「ピアノが好き」と言っていたHさんがリーダーになり、今も当時の4人は「ななつの子」という自主的童謡のコーラスで活動しています。

講座に参加したからこそ、今もつながって継続した活動ができていると思います。

「女を磨く」のはどんな小さなことでも一つ一つていねいにつむぎ、自分に気づいて信頼や思いやりや勇気の積み重ねが大切だということもわかりました。自分はまだまだ友人によって変わる、松林会館は私の心の豊かさの出入口なのです。

今は、ヨガ、わら細工、コーラス、ボラ

ンティアと公民館をフル活用中で講座を通じて多くの友達も出来、近くのスーパーで逢うと、笑顔があり、挨拶があり、情報交換があり今ここに住んでいる自分が安心して暮らせるのです。友達は私の宝です。

その後、講師の林田先生は他の講座のため松林会館で会える機会があり、現在の私達の状況報告をしたりしています。終わりのない講座でした。

## 1997（平成9）年度

| 講座名                                   | 実施期間   | 回数 | 人数  | 内容  | 主催 |
|---------------------------------------|--------|----|-----|---|----|
| 女性問題講座「女と男の生き方講座—今、自分を見つめるとき—」        | 1月～3月  | 8  | 59  | 自分自身のこととして生活課題と結び付けて考え、経済的自立に向けて実際に行動ができるようなきっかけづくり、また、互いに話し合える関係づくりの場として実施 | 本館 |
| 男女共生をめざしての講座—からだ・性と女性—                | 9月～10月 | 5  | 95  | 日常生活の中での性の差別を女性問題として考え学習し合い、自分の生き方の問題として性の問題を考えていく                          | 松林 |
| 女性が輝いて生きるために働くことを考える                  | 3月     | 4  | 52  | 女性労働者の現状と法の保障に部分を照らし合わせ学習する   | 松林 |
| 教育講座「子育て—乳幼児の成長・発達の筋道は—一人が人間として育つことは— | 11月～2月 | 12 | 120 | 人が人間らしく育っていくとは何が必要なのか考えあう   | 松林 |
| 女性問題学習—女性のライフサイクルを通して—                | 3月     | 5  | 50  | 女性のライフサイクルの変化を通して、女性問題の課題を考える   | 松林 |

## 1998（平成10）年度

| 講座名                                  | 実施期間    | 回数 | 人数 | 内容  | 主催 |
|--------------------------------------|---------|----|----|---|----|
| 近・現代の日本女性史講座 時代を拓いた女性たち—“わたし”を生きる—   | 6月～7月   | 4  | 59 | 歴史を知り、学ぶことから自分自身のことを考えるきっかけにする                              | 本館 |
| 女も男も共に生きる社会をめざしての講座—もっと知ろうよ「からだ」と「心」 | 9月～11月  | 7  | 80 | からだの変化、心の変化を自分自身で認識し、受け止め、女の生き方としてどう生きていきたいのか、どう社会がなるべきかを問う | 松林 |
| ふっさ女性フォーラムにむけての学習会「ことばに見る性差別」        | 11月～12月 | 6  | 41 | ふっさ女性フォーラムへ向けて、実行委員会のメンバーを中心に企画した事前学習会を行った                  | 本館 |

## 1999（平成11）年度

| 講座名                                    | 実施期間    | 回数 | 人数 | 内容   | 主催 |
|--|---------|----|----|--|----|
| 日本女性史講座「時代を拓いた女性たち—広がる女性の職業—」          | 6月～7月   | 5  | 45 | 歴史を知り、学ぶことから自分自身のことを考えるきっかけにする                     | 本館 |
| ふっさ女性フォーラムをすすめる会 ワークショップ「もっと話そう、自分のこと」 | 2月～3月   | 3  | 35 | ワークショップ形式で自己表現の方法、自分自身のことを改めて考えるきっかけとした            | 本館 |
| 女性労働講座                                 | 10月～12月 | 6  | 30 | 女性労働の歴史を学習し、現状と課題を考え合い、実態を把握した上で、改正均等法・労働法について学習する | 松林 |

## 2000（平成12）年度

| 講座名                      | 実施期間  | 回数 | 人数 | 内容  | 主催 |
|--------------------------|-------|----|----|---|----|
| 新聞・雑誌をひらいてみたら～メディアをよみとく～ | 5月～6月 | 4  | 27 | テレビ・新聞・雑誌・福生の街中のアートなどのメディアから発信されている大量の情報の中で女性・男性の描かれ方について一つ一つ検証し、問題点を明確にしていった | 本館 |



|  |         |   |     |   |    |
|--|---------|---|-----|---|----|
| ふっさ女性フォーラムをすすめる会 ワークショップ「もっと話そう、自分のこと」 | 4月      | 3 | 36  | アサーティブネスを通して自己表現の方法、自分自身のことを改めて考えるきっかけとした                                     | 本館 |
| 女性のための講座「銅と和紙の素材でテーブルランプを作りましょう」       | 11月～12月 | 6 | 114 | 自身の創意と工夫でテーブルランプを完成させ、その充実感を体験することにより、欠けていた技術を取り戻し、文字・言葉で学習するのと同様に、本人の自信につなげる | 松林 |

## 2001（平成13）年度

| 講座名   | 実施期間  | 回数 | 人数 | 内容  | 主催 |
|---|-------|----|----|---|----|
| 女性のための講座「今、女性の卵子が危険にさらされている！」                 | 3月    | 3  | 6  | 女性の体について学習し、女性の生き方を見つめ直し、考える機会とした                           | 松林 |
| 男女共同参画社会へ向けての講座「マンガ・わたし・ジェンダー～コミックからひとく女性生き方」 | 5月～6月 | 4  | 25 | 子どもから大人まで私たちの生活に定着しつつあるマンガに範囲を絞り、女性・男性の描かれ方を探り、問題点を明らかにしていく | 本館 |

## 2002（平成14）年度

| 講座名   | 実施期間    | 回数 | 人数 | 内容   | 主催 |
|---|---------|----|----|--|----|
| 女性問題入門講座  | 1月～2月   | 5  | 32 | ふっさ女と男のフォーラムに参加する前に、女性問題についての理解を深めたい方を対象に、ごく基本的な、身近な女性問題について知ってもらう | 本館 |
| ふっさ女と男のフォーラムをすすめる会秋の学習会 私たちの望むワークショップ～今、女性が働くとは～  | 11月～12月 | 3  | 19 | 女性の労働環境の課題を女性問題の視点から考えた  | 本館 |
| 男女共同参画週間 ふっさ女と男のフォーラムをすすめる会春の学習会 女性が元気になる！シネマ&トーク | 6月      | 2  | 14 | 男女共同参画週間において、広く市民にその週間の存在意義を広め理解する機会として実施した                        | 本館 |

## 2003（平成15）年度

| 講座名                   | 実施期間    | 回数 | 人数  | 内容                                  | 主催 |
|-----------------------|---------|----|-----|-------------------------------------|----|
| ふっさ女と男のフォーラムをすすめる会学習会 | 11月～12月 | 5  | 110 | ふっさ女と男のフォーラムを、より深く理解するために事前学習会を実施した | 本館 |

## 2004（平成16）年度

| 講座名        | 実施期間  | 回数 | 人数 | 内容   | 主催 |
|------------|-------|----|----|--|----|
| 中高年いきいきライフ | 1月～2月 | 5  | 78 | 老後を楽しく過ごすために、夫の定年を機会に、共に生きるパートナーとの関係、自分探しなどを考える機会とした | 白梅 |

## 2005（平成17）年度

| 講座名                     | 実施期間  | 回数 | 人数 | 内容                                      | 主催 |
|-------------------------|-------|----|----|---|----|
| 女を磨く私の時間～自分とスマイルをトリモドス～ | 2月～3月 | 3  | 19 | 子育てが一段落し、ひとりになった貴重な時間をどのように過ごすか考える機会とする | 松林 |

|            |       |   |    |  |    |
|------------|-------|---|----|--|----|
| 中高年いきいきライフ | 1月～3月 | 6 | 84 | 老後を楽しく豊かなものにするために、夫の定年を機会にパートナーとの関係を見つめ直した | 白梅 |
|------------|-------|---|----|--|----|

## 2006（平成18）年度

| 講座名               | 実施期間   | 回数 | 人数 | 内容  | 主催 |
|-------------------|--------|----|----|---|----|
| 親子フラダンス教室         | 6月～7月  | 7  | 83 | 親子ともにフラダンスを学び、音楽によって踊ることを楽しむ機会とした                       | 本館 |
| お弁当作りをとおして食生活を考える | 2月～3月  | 7  | 16 | 何をどれくらい食べたらいいかを、1食単位で考えることをとおして、バランスの良い食事について学び、実践につなげた | 本館 |
| 女性のための食育講座        | 9月～11月 | 4  | 10 | 癒しのための食育講座を、成人女性を対象として実施した                              | 白梅 |

## 4 成人と公民館

### 成人対象事業のあゆみ

#### 協働して講座をつくる

公民館の行う事業は、単なる個人的な趣味や文化の習得に向けた学習だけでなく、学習を通じた新たな人間関係を構築する役割がある。会社や家族関係、地縁関係だけではなく共通の興味や知識で結ばれる「知縁」関係を形成し育む場として重要な役目を担っている。

しかし、職員の短期異動サイクルのなかでは、新たな講座の中から関係性を築き、学習課題を見出して行くことが難しくなっている。人のつながりができはじめ、その信頼関係の中から日常生活に潜む学習課題が見えはじめる頃にはその課題を学習へとつなげていく職員がいないということがある。

職員がかわることに伴って、それまで積み上げられてきたいくつもの講座がこの10年の間で途切れている。本館では男の料理教室や草笛講座、松林分館ではPTA講座、地域福祉講座や陶芸教室、白梅分館では自然かんさつ会、ハイキング講座などがある。だが一方で、サークルなどで学習を重ね関係性を維持している団体が数多くあり、こうした団体の支えで市民文化教室や音楽講座、文学講座など継続して開催されている講座があるのも事実である。

学習の主体は住民である。公民館が行う成人の講座には、住民の学習要求に基づいて継続的に

そして体系的に行われることが求められている。

地域に根ざして活動し続けている団体には、学習の積み上げや豊かな



スタンドグラス教室 (2004)

#### 救命救急「AED操作講習会」(2006.7)

人間関係の蓄積がある。こうした人たちと協働してはじめられた講座がここ数年見られるようになっている。文学講座や大人の食育講座など、既存のサークルとの協力を通じて学習を深めることで更なる生活課題に気づいていき、次の学習へとつなげていくという流れができはじめている。

#### 市民文化教室

市民文化教室は、はじめての人が趣味や実技教養について、気軽に繰り返し学べる機会を提供し、大勢の人々に興味を持つことの楽しさや学ぶことの楽しさを広めることを目標としている。

この教室は、福生市文化協会と公民館との共

催で、1971（昭和46）年より現在まで継続して実施しており、毎年10コース近くが行われている。こうしたコースは、市民の文化活動要求に答え、個々の創造的感性を養うとともに、地域での人と人とのつながりを得る契機として実施し、豊かで活力のある日常生活の実現と地域文化の向上を目標としている。

参加者の多くは文化教室終了後に新たな自主グループとして活動をしたり、また既存のサークルに参加するなど、学習を継続している。一個人の趣味を超えて、ともに学びあう場に参加し互いを高めあうことで、参加者のかかわりは地域へと広がり、文化の向上と人の輪を深めている。

### 識字学級

義務教育が普及徹底した現代において、日本語の読み書きが出来ることは当たり前だと思われがちだが、実際に福祉の現場では日本語を十分に読み書きできない人はそれほど珍しくないという。

近年においては、登校拒否、あるいは不登校児といった自ら学びそのものから逃避する子どもがふえており、特に中学生においてその増加が目立つ。そうした機能的非識字者（義務教育は終了していても、読み書きに不自由している）も含めるとその数はもっと増える。

文字の読み書きが出来ないということは、その人の生活そのものを狭くせざるを得ない基本的な

権に関わることである。識字学級の参加者の多くが“貧しさ”ゆえに学ぶ機会から疎外されてきた。

こうした人権を奪われた人々に対して、その人権を具体的に回復していく学習として、松林分館では1986（昭和61）年7月から識字学級「ことばの会」が始った。

しかし、2004（平成16）年5月に、18年間続いてきた識字学級は終了する。主な要因としては、職員の異動や講師の体調不良といった点があげられる。公民館の講座としては、以後、識字への取り組みはなされていない。

世界では8億8000万人の成人が読み書きに不自由している。この現状を改善するため、国際連合では、2003年から2012年までの10年間を「国連識字の10年」として、非識字率を半減させていくことを目標としている。

現在、成人非識字者の多くが、戦争や差別、貧困、障害があるなどの理由で学校に行けなかった人々や、外国から来日した人々である。機能的非識字者も含めると、今後さらに多くの非識字者が増えることが考えられ、改めて識字教育が課題となってくる。

### 地域福祉講座

地域福祉講座は、松林分館で1991（平成3）年から2001（平成13）年までの11年間開催されてきた。社会福祉政策が大きく転換する中で、地域福祉計画をいかに住民の視点から形成していくか、また住民自らが福祉の権利主体となるために学習が継続されてきた。

戦後社会福祉政策の歴史を振り返ると、福祉の対象者は、「援護、育成又は更正の措置を必要とする者」から「福祉サービスを必要とする者」、「福祉サービスの利用者」へと移っていった。

1990（平成2）年の「老人福祉法等の一部を改正する法律」（福祉八法の改正）が制定、公布された。この改正は「住民に最も身近な市町村で、



## 英会話講座 (2005)

在宅福祉サービスと施設福祉サービスがきめ細かく一元的かつ計画的に提供される体制作りを勧め「ための法改正であった。

この八法改正ではそのままとされた「措置制度」はその後見直しをされていく。多様な福祉ニーズに応えられる新たなサービス供給の仕組みとして1997(平成9)年の児童福祉法改正による保育所入所方式による措置制度が廃止され「選択的利用制度」がとられるようになった。同年、介護保険法が成立し、介護関連サービス分野においても原則措置制度は廃止されていく。2000(平成12)年に成立した社会福祉法においては障害児・者福祉の分野で「支援費支給制度」が導入されていく。こうして要保護児童に関する制度を除いては、基本的に高齢者介護、障害児・者福祉、保育所への入所について原則として措置制度が廃止され、福祉サービスの利用制度化が図られていった。

戦後50年が経過するなか、その経済事情や、社会情勢の変化にともない福祉のありかたは大きく変化していった。2000年の社会福祉法では、「地域福祉の推進」及び「市町村地域福祉計画」の策定に関する規定が新たに設けられた。この計画により、保健福祉サービスの適切な利用促進、福祉を目的とする事業の健全な発展、地域の福祉活動の住民参加の促進など地域福祉の一層の充実を図ることが規定された。

福祉八法改正以降、社会福祉の対象者は「措置を必要とする者」から「福祉サービスの利用者」へと変化し、個別のニーズに合わせてその福祉サービスを選択していくことが求められるようになった。

このように、福祉政策の学習はその政策の意図するものを明らかにしていくという意味では重要である。しかし、市民の中に地域福祉の権利主体であるという意識が作られてこない地域福祉計画も具体的には活用されていかない。地域福祉講座は、福生市における福祉の実態を明らかにする

とともに、地域福祉の理念を理解し、福祉の権利主体形成、地域における福祉実践主体の形成を目的として位置づけられてきた。

## 自然かんさつ会、多摩川の自然とふっさ

福生市内にはまとまった自然空間はほとんど残っていないため、福生市民にとって多摩川の空間は多様な意味をもつ。福生市は実面積が7平方キロメートルで市域の西から南側にかけて多摩川が流下しており、その多摩川に沿って河岸段丘が発達している。段丘に残るわずかな緑地以外はまとまった雑木林といった空間がなく、ほぼすべての部分が住宅地となっている。そのため、自然の仕組みや働きを実際の生物の観察をとおして理解する場は多摩川河川敷に限られる。河川敷の生物を中心とした観察や調査に参加することから、自然の仕組みや働きと人間の生活とのかかわりを学

習する機会として、自然観察の事業が行われてきた。

自然かんさつ会に参加する人の多くは、植物だけ、あるいは野鳥だけというように特定の生物だけ関心を示すといった状況であった。しかし継続してかんさつ会を開くことで、特定の関心領域をこえて地域の歴史や地形、気象、植生などといった総合的な視点を持ち、地域を構成する生物総体としての「地域」を分析できる力を身につけていく。

また、年間10数回の自然かんさつ会を継続して開催していたが、それは多摩川そのものや水生生物から魚類、植物、野鳥、哺乳類など広範なデータにもとづいた観察ではなかった。そのため、多摩川の福生分を多方面から調査をしている専門家集団との交流の機会を持ち、多摩川やその河川敷を学術的に学ぶ機会とした。このように、日常的に市内の多摩川を観察している市民と、研究者とのお互いの知識や経験を出し合い、より豊かな生物が生活できる自然環境の創出を目指していった。

2001（平成13）年に講座は途切れてしまったが、ここで学んできた市民がNPO法人自然環境アカデミーを立ち上げており、自然かんさつを引き継ぐとともに、近隣小中学校の総合的学習を支援している。

### 市民合唱講座

現在、市民合唱講座は、市民音楽祭への参加を前提として企画されている。この合唱講座は、音楽愛好者連絡会（以下「音連」という。）との共同で企画運営が行われている。ここ10年の1講座当たりの参加者数は表のとおりである。

市民合唱講座参加者数の推移

| 年度      | H9  | H10 | H11 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 参加者数（人） | 120 | 82  | 105 | 44  | 44  | 35  | 40  | 30  | 106 | 100 |

2000（平成12）年から参加者数が半減しているが、この期間はフォルクローレ、ジャズボーカル、ゴスペルといった企画で講座が開催された。

2004（平成16）年に行われた音連会議の中で、「多くの人に参加しやすいテーマがよいのでは」という反省が出され、次年度では童謡や唱歌を歌う講座を企画するとともに、音連に加盟しているそれぞれの団体が積極的に参加するようになる。2005（平成17）年、2006年の参加者数のうち、既存の合唱サークルからの参加率がそれぞれ61.5%、76.1%と、一般参加者とともに講座を盛り上げていくようになる。

音連は1980（昭和55）年に公民館が主催した「音楽愛好者のつどい」をきっかけに、個人、グループ音楽愛好者の交流に向けて結成された。そして音楽発表の場を作る計画がなされ、翌年公民館主催で「第1回市民音楽祭が開催された。以後、合唱講座と音楽祭が両輪となって継続して開催され、2006（平成18）年までの間に25回の音楽祭が行われた。市民音楽祭で合唱講座の発表の場が確保されているのは、公民館と音連が協働して、各サークル同士、市民との音楽を通して人のつながりを大事にしてこうという思いのあらわれなのである。

## 1997(平成9)年度

| 講座名                      | 実施期間   | 回数  | 人数   | 内容   | 主催 |
|--------------------------|--------|-----|------|--|----|
| 市民文化教室 13コース             | 7月～12月 | 130 | 2100 | 編物・手芸、三味線、尺八、剣詩舞、社交ダンス、民謡踊り、書道、いけばな、茶道、詩吟、民踊、着付  | 本館 |
| 市民音楽祭ミュージカル合唱講習会         | 5月～6月  | 14  | 1680 | ミュージカルを通じた合唱講習会  | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会           | 6月     | 3   | 30   | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける   | 本館 |
| 文学講座「夏目漱石を読む」            | 1月～3月  | 8   | 152  | 文学作品をとおして作品に対する作家の考えや表現を学ぶとともに自分が自分の人生とどのように向き合っていくかを考える   | 本館 |
| 草と木の染教室                  | 1月～2月  | 5   | 85   | 身近にある植物を使って染めることで地域の豊かな自然を認識し、暮らしの中に生かしていく   | 本館 |
| 男の料理教室「男子厨房に入るっ!」        | 2月～3月  | 6   | 90   | 食に対する正しい知識と料理の技術を学び家族や自分の健康管理を考えた献立を作ること、そして性別役割分担に基づいた家族のあり方を考え直す   | 本館 |
| 篆刻入門講座                   | 2月～3月  | 5   | 85   | 篆刻の技法を学び自分の印を完成していく中で参加者同士の親睦をはかる  | 本館 |
| 識字学級 一言葉の会               | 4月～3月  | 47  | 329  | 読み書きは基本的人権の一つであり、それを奪われた人々の人権を具体的に回復していく場とする   | 松林 |
| P T A入門講座「いきいきP T A」     | 5月～7月  | 6   | 30   | 本来のP T Aの意味を考え教育を考えあえるP T A活動にするためにはなにが必要かを考える機会とする  | 松林 |
| 地域福祉講座 誰もが生き生きと生活する場を求めて | 4月～3月  | 35  | 280  | 在宅福祉を中心とする福祉制度の転換の中で介護保険や高齢者医療問題等が課題になっている。改めて地域福祉の現実を通して福祉や医療制度を考える機会とする                                    | 松林 |
| 史跡を尋ねてー自由民権の跡を尋ねて        | 10月    | 1   | 10   | 西多摩や市内の文化財を探訪し、地域への歴史的な理解を深める  | 松林 |
| 初心者陶芸教室                  | 5月～6月  | 7   | 147  | 成人の出会いの場として陶芸の楽しさを感じてもらえる学習を実施   | 松林 |
| 初心者水墨画教室                 | 1月～3月  | 10  | 200  | 水墨画の基礎的な技法を学ぶ  | 松林 |
| 講座「権利としての社会教育・生涯学習」を学ぶ   | 12月～2月 | 5   | 35   | 戦後社会教育が築いてきた「権利としての社会教育」「生涯学習」を考える   | 松林 |
| 自然かんさつ会                  | 5月～3月  | 13  | 234  | 感心のある領域の形態だけでなく、より一歩進んで地域の歴史や地形・植生などといった総合的な視点から各生物を観察し、今福生で生活する人間同士がなぜ身近な自然に関心を持ち自然と共存したまちを作っていく必要があるのかを考える | 白梅 |
| アメリカンリアルバードカービング教室       | 1月～3月  | 10  | 100  | バードカービングの基礎を学び、木から別の生命を生む楽しさを味わってもらい、身近な環境を考える機会とする  | 白梅 |
| やさしい生物の話                 | 6月～3月  | 10  | 97   | 身近な生物に関する話題を取り上げ、生物学の元大学教授からわかりやすく話してもらい身近な生物の環境に関心を向ける機会とする   | 白梅 |
| 巣箱やえさ台を作るう               | 12月    | 1   | 5    | 市の鳥「シジュウカラ」が利用する巣箱やえさ台を作成し、身近に野鳥を観察し、野鳥も含めた生活環境に感心を持てるようにする  | 白梅 |
| 趣味開発講座「生きがいさがしの会」        | 7月～3月  | 46  | 429  | 現役で働く40歳以上の方々を対象に仲間作り、健康増進を進めると同時に参加者の話し合いで企画された内容を実施する  | 白梅 |
| 学習ハイキング                  | 4月～3月  | 17  | 225  | 市民配布案内マップの作成、仲間作り、集団活動の学習、健康学習、生きがい、自主活動化を目標とする  | 白梅 |
| 太極拳                      | 5月～7月  | 10  | 157  | 趣味開発講座での学習後、参加者から太極拳を自主活動していく要望があり、一般市民を加え自主化すべく事業を実施する  | 白梅 |
| 中学生を持つ悩める親の会             | 8月～10月 | 7   | 42   | 講師からの中学生の現状報告や現役高校生を迎えて生の声を聞き、また家庭裁判所調査官の抱えるすさまじい実態などを聞いて、改めて地域の大人としての役割やあり方を考える機会とする                        | 白梅 |

## 1998(平成10)年度

| 講座名                    | 実施期間    | 回数  | 人数   | 内容  | 主催 |
|------------------------|---------|-----|------|---|----|
| 市民文化教室 12 コース          | 7月～12月  | 120 | 1650 | 剣詩舞、民踊、手芸、三味線、書道、フラダンス、民踊新舞踊、日本舞踊、いけばな、茶道、着付、大衆園芸   | 本館 |
| 市民音楽祭「合唱講座」            | 4月～6月   | 12  | 984  | 公民館と福生市音楽愛好者連絡協議会との共催により「オペラをうたおう」をテーマとしサークルの力量をさらに伸ばし合唱音楽に仕上げるため合唱講座を実施する                            | 本館 |
| 福生春のコンサート合唱講習会         | 9月～3月   | 30  | 2550 | 第6回「福生春のコンサート」にむけ、第九・オペラ合唱音楽作りと合唱団の育成機会として実施する  | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会         | 6月      | 3   | 21   | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける  | 本館 |
| 文学講座「万葉をよむ」            | 1月～3月   | 6   | 102  | 歌の注釈だけでなくその時代背景や一般庶民の生活などを学ぶ  | 本館 |
| 草笛講座                   | 10月～11月 | 5   | 44   | 草笛の吹き方の指導や講義を通して草笛に関心を持つと同時に自然環境にも関心を持つことを目指した  | 本館 |
| 介護保険を考える               | 12月     | 3   | 46   | 介護保険の概略説明、各市町村を取り巻く状況や問題点、福生市の現状などを学び、講師・参加者とともに地域の中で福祉を考える   | 本館 |
| おじさんのための英会話教室          | 7月～12月  | 20  | 138  | 英会話を題材に、人の交流・地域の交流を目指す  | 本館 |
| 講座「草と木の染」自然の色を染めよう     | 9月～11月  | 7   | 112  | 身近にある植物を使って染めることで地域の豊かな自然を認識し、暮らしの中に生かしていく  | 本館 |
| 講座「男の料理 男子厨房に入ろう！」     | 2月～3月   | 6   | 90   | 食に対する正しい知識と料理の技術を学び家族や自分の健康管理を考えた献立を作ること、そして性別役割分担に基づいた家族のあり方を考え直す                                    | 本館 |
| 篆刻入門講座                 | 2月～3月   | 6   | 106  | 篆刻の技法を学び自分の印を完成していく中で参加者同士の親睦をはかる   | 本館 |
| 識字学級 一ことばの会            | 4月～3月   | 43  | 344  | 読み書きは基本的人権の一つであり、それを奪われた人々の人権を具体的に回復していく場とする  | 松林 |
| P T A 入門講座 一生き生き P T A | 10月～11月 | 6   | 30   | P T A の本来の意味を改めて確認しながら P T A の民主的な運営の方法、P T A のあり方としての広報のありかたを学ぶ機会とする                                 | 松林 |
| 地域福祉講座 介護保険等           | 4月～3月   | 40  | 349  | 市民の立場から地域福祉の課題を考え、課題解決のために何ができるのかを具体的に考える場とする   | 松林 |
| 初心者陶芸教室                | 5月～6月   | 7   | 133  | 陶芸学習を通して製作する楽しみを感じ、自分で製作できるよう基礎的な技術を習得する機会とする   | 松林 |
| 初心者水墨画教室               | 1月～3月   | 10  | 140  | 水墨画の基礎的な技法を学ぶ講座   | 松林 |
| 福生の多摩川を隅々までのぞいてみよう     | 10月～12月 | 7   | 94   | 「河川生態学学術研究 多摩川グループ」という専門家集団と日常的に市内の多摩川を観察している市民との出会いの場とし、お互いの知識と経験を出し合うことでより豊かな生物が生活できる生活環境の創出にむけ考え合う | 白梅 |
| 自然かんさつ会                | 4月～4月   | 10  | 161  | 特定の生物だけでなく、地域を構成する生物の総体としての「地域」を分析できる力を身につける機会とする   | 白梅 |
| 金属工芸教室                 | 4月～12月  | 12  | 200  | 手作りの良さや楽しさを学び、いろいろな道具を使って自分の新しい可能性をみつける機会とする  | 白梅 |
| おもしろい生物の話              | 5月～3月   | 10  | 92   | 身近な生物に関する話題を取り上げ、生物学の元大学教授からわかりやすく話してもらい身近な生物の環境に関心を向ける機会とする  | 白梅 |
| 巣箱やえさ台を作ろう             | 3月      | 1   | 3    | 市の鳥「シジュウカラ」が利用する巣箱やえさ台を作成し、身近に野鳥を観察し、野鳥も含めた生活環境に感心を持てることを目的とする  | 白梅 |
| 趣味開発講座 生きがいさがしの会       | 6月～3月   | 40  | 414  | 現役で働く40歳以上の方々を対象に仲間作り、健康増進を進めると同時に参加者の話し合いで企画された内容を実施する   | 白梅 |
| 学習ハイキング教室              | 4月～3月   | 24  | 354  | 市民配布用案内マップの作成、仲間作り、集団活動の学習、健康学習、生きがい、自主活動化を目標とする  | 白梅 |
| 説得力のあるチラシ作り            | 6月～7月   | 4   | 54   | チラシ作りの基本的なことを中心に実際のレイアウト作業などを学ぶ   | 白梅 |



## 1999（平成11）年度

| 講座名                            | 実施期間    | 回数  | 人数   | 内容   | 主催 |
|--------------------------------|---------|-----|------|--|----|
| 市民文化教室 12コース                   | 7月～12月  | 120 | 1410 | 剣詩舞、フラダンス、三味線、日本舞踊、詩吟、民謡、民謡新舞踊、着付、書道、いけばな、茶道、尺八                                    | 本館 |
| 市民音楽祭「合唱講座」                    | 4月～6月   | 9   | 945  | コーラスサークルや一般の参加者を対象に、市民音楽祭での合唱音楽に仕上げるため合唱講座を実施                                      | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会                 | 7月      | 3   | 54   | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける   | 本館 |
| 文学講座「万葉・多摩の歌をよむ」               | 2月～3月   | 5   | 100  | 歌の注釈だけでなくその時代背景や一般庶民の生活などを学ぶ   | 本館 |
| 親子草笛講座                         | 8月      | 4   | 39   | 夏休みを利用して草笛を通して親子のふれあい、自然とのふれあいを目的とする   | 本館 |
| 茶室「福庵」でふっさの創作民話を聴こう            | 8月      | 1   | 19   | 市の創作民話「むかし福生」の朗読と作者の解説を聞き、福生の町への関心や興味を高める  | 本館 |
| ジャズ入門講座                        | 9月～10月  | 5   | 90   | ジャズを聴き、演奏し、語り合い、ジャズの楽しみを学ぶ   | 本館 |
| 介護保険講座「待ったなし！介護保険」             | 7月～8月   | 5   | 65   | 制度の仕組みの説明、今後予想される制度上の諸問題や市町村を取り巻く状況、福生市における状況、また社会保障制度や福祉制度全般にわたり学習し、地域の福祉のあり方を考える | 本館 |
| 緊急講座「開始直前・介護保険」                | 3月      | 3   | 40   | 介護保険を一つのテーマとし参加者とともに地域の仲での福祉のあり方、自分たちの住んでいるまちをいかにしてよくしていくか住民自治について考えあう             | 本館 |
| 地域での共生をめざして～障害者・高齢者の人権を考える     | 3月      | 1   | 26   | 障害を持っていても、またハンディキャップがあっても誰もが一人の人間として人間らしく生きるとはどういうことか改めて考える                        | 本館 |
| 仏像鑑賞講座                         | 11月～1月  | 5   | 105  | 日本文化への憧憬・洞察を深めるため、仏像の基礎知識や鑑賞方法などを学ぶ  | 本館 |
| 講座「男の料理 台所でかっこいい男になるう」         | 10月～12月 | 6   | 72   | 食に対する正しい知識と料理の技術を学び家族や自分の健康管理を考えた献立を作ること、そして性別役割分担に基づいた家族のあり方を考え直す                 | 本館 |
| 篆刻入門講座                         | 2月～3月   | 6   | 117  | 篆刻の技法を学び自分の印を完成していく中で参加者同士の親睦をはかる  | 本館 |
| 「語り」の講座                        | 2月      | 5   | 120  | 語りを通じて、言葉で語り、音声で表現する大切さや言葉でのコミュニケーションの重要性を学び生活に生かすものを獲得する                          | 本館 |
| 識字学級                           | 4月～3月   | 42  | 210  | 読み書きは基本的人権の一つであり、それを奪われた人々の人権を具体的に回復していく場とする                                       | 松林 |
| P T A 入門講座 豊かな P T A 活動をつくるために | 5月～7月   | 7   | 91   | P T A 運営の基礎的な知識を獲得する場として開催   | 松林 |
| 地域福祉講座                         | 4月～3月   | 5   | 200  | 「住民の視点から地域福祉」の課題を考えると同時に「福祉の権利主体形成」にむけて講座を実施                                       | 松林 |
| 初心者陶芸教室                        | 5月～7月   | 7   | 154  | 陶芸学習を通して製作する楽しみを感じ、自分で製作できるよう基礎的な技術を習得する機会とする                                      | 松林 |
| 初心者水墨画教室                       | 1月～3月   | 10  | 183  | 水墨画の基礎的な技法を学ぶ講座  | 松林 |
| 市民大学歴史講座 戦後史に学ぶ                | 10月～12月 | 6   | 30   | 戦後民主主義が積み上げてたものを改めて戦後史から学ぶ機会とする  | 松林 |
| 史跡見学会                          | 7月～11月  | 2   | 22   | 地域の歴史やその暮らしを支えてきた風土としての歴史跡を尋ねる機会とする  | 松林 |
| 移動公民館                          | 8月～10月  | 6   | 274  | 公民館未利用者の開拓と公民館の周知、市民の健康増進を図ることを目的に実際生活に即した問題をテーマとする                                | 白梅 |
| 多摩川の自然とふっさ                     | 10月～12月 | 6   | 94   | 日常的に市内の多摩川に感心を持っている市民と学術調査研究者との出会いと、より豊かな生物が生活できる自然環境の創出にむけて学習をする                  | 白梅 |
| 自然かんさつ会                        | 6月～3月   | 8   | 127  | 特定の生物だけでなく、地域を構成する生物の総体としての「地域」を分析できる力を身につける機会とする                                  | 白梅 |
| リアルバードカービング                    | 5月～7月   | 10  | 85   | バードカービングの基礎を学び、木から別の生命を生む楽しさを味わってもらい、身近な環境を考える機会とする                                | 白梅 |

|             |        |    |     |   |    |
|-------------|--------|----|-----|---|----|
| おもしろい生物の話   | 7月～12月 | 6  | 55  | 身近な生物に関する話題を取り上げ、生物学の元大学教授からわかりやすく話してもらい身近な生物の環境に関心向ける機会とする | 白梅 |
| 巣箱を作る       | 3月     | 1  | 6   | 市の鳥「シジュウカラ」が利用する巣箱やえさ台を作成し、身近に野鳥を観察し、野鳥も含めた生活環境に感心を持てるようにする | 白梅 |
| 生きがいさがし教室   | 6月～3月  | 29 | 290 | 現役で働く40歳以上の方を対象に仲間作り、健康増進を進めると同時に参加者の話し合いで企画された内容を実施する      | 白梅 |
| 学習ハイキング教室   | 5月～3月  | 25 | 280 | 市民配布用案内マップの作成、仲間作り、集団活動の学習、健康学習、生きがい、自主活動化を目標とする            | 白梅 |
| 説得力のあるチラシ作り | 6月～7月  | 4  | 35  | チラシ作りの基本的なことを中心に実際のレイアウト作業などを学んだ                            | 白梅 |

## 2000（平成12）年度

| 講座名                          | 実施期間   | 回数 | 人数   | 内容   | 主催 |
|------------------------------|--------|----|------|--|----|
| 市民文化教室 9コース                  | 7月～12月 | 90 | 1269 | 民踊新舞踊、三味線、民謡、詩吟、ウクレレ、書道、いけばな、茶道、着付   | 本館 |
| 市民音楽祭「合唱講座」                  | 4月～6月  | 11 | 507  | コーラスサークルや一般の参加者を対象に、市民音楽祭での合唱音楽に仕上げるため合唱講座を実施                                | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会               | 6月     | 3  | 45   | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける   | 本館 |
| 文学講座「柿本人麻呂の人と作品」             | 2月～3月  | 5  | 107  | 歌の注釈だけでなくその時代背景や一般庶民の生活などを学んだ  | 本館 |
| 新緑草笛講座                       | 5月～6月  | 4  | 30   | 草笛の吹き方の指導や講義を通して草笛に関心を持つと同時に自然環境にも関心が持てることを目指す                               | 本館 |
| ストーンペインティング講座                | 10月    | 2  | 18   | 身近に存在する石を使って参加者自身がテーマを持って創作する  | 本館 |
| レクリエーション・リーダー養成講習会           | 6月～7月  | 5  | 200  | ゲーム・ソングなどコミュニケーションのための技術、知識を身につけ様々な場でリーダーとして活躍できるよう実施                        | 本館 |
| クリスマスを手作りしようーキャンドルづくりとレクゲーム  | 12月    | 2  | 34   | キャンドルを作ったり、室内ゲームなどを学び、地域で家庭であるいは友人たちとともに創意工夫のもと、クリスマスパーティーを企画実施する力を身につけるため実施 | 本館 |
| 介護保険講座「介護保険が始まった今」           | 9月     | 4  | 39   | 介護保険制度を中心に社会保障制度や福祉制度全般にわたり地域の福祉のあり方について考えあう                                 | 本館 |
| 講座「男の料理」                     | 6月～7月  | 6  | 90   | 食に対する正しい知識と料理の技術を学び家族や自分の健康管理を考えた献立を作ること、そして性別役割分担に基づいた家族のあり方を考え直す           | 本館 |
| 初心者のための篆刻入門講座                | 2月～3月  | 6  | 85   | 篆刻の技法を学び自分の印を完成していく中で参加者同士の親睦をはかる  | 本館 |
| 映画鑑賞講座                       | 9月～10月 | 5  | 120  | 宗教観や政治的背景などがどのような表現を生んでいるのか、作家のねらいはどのような部分で作品中に表れるのかなど討論を行う                  | 本館 |
| 映画研究講座                       | 12月    | 3  | 54   | 映像メディアを作る側からのアプローチをして映画を読み解くヒントとする   | 本館 |
| 地域環境問題入門講座ー警報の鳴る宇宙船地球号！      | 6月～7月  | 5  | 80   | 破壊が進む深刻な地球環境を学びそれが私たちの日常生活とどのように関わっているのかを学ぶ                                  | 本館 |
| 初心者パソコン入門講座（第1回）             | 9月～10月 | 4  | 140  | パソコンに触れたことのない方を対象に行う   | 本館 |
| 初心者パソコン入門講座（第2回）             | 3月     | 4  | 80   | パソコンに触れたことのない方を対象に行う   | 本館 |
| 識字学級ー言葉の会                    | 4月～3月  | 4  | 240  | 読み書きは基本的人権の一つであり、それを奪われた人々の人権を具体的に回復していく場とする                                 | 松林 |
| P T A 入門講座ー生き生きP T A 活動を作るには | 5月～7月  | 7  | 77   | P T A の役割や意味を学ぶとともに運営についても豊かな活動をつくる具体的な方法を学ぶ                                 | 松林 |
| 地域福祉講座ー地域に豊かな福祉を             | 9月～11月 | 10 | 74   | 日本の戦後社会保障のあり方を考える  | 松林 |
| 教育講座「いま子どもたちは・・・」            | 2月～3月  | 5  | 25   | 今日のこどもと教育の課題を学ぶ機会とする   | 松林 |

|                           |         |    |     |  |    |
|---------------------------|---------|----|-----|--|----|
| 初心者陶芸教室                   | 5月～7月   | 7  | 161 | 陶芸学習を通して製作する楽しみを感じ、自分で製作できるよう基礎的な技術を習得する機会とする                  | 松林 |
| 初心者デッサン教室                 | 1月～3月   | 10 | 174 | 対象物を観察・写生し単色による描写力を養うとともに参加者同士の仲間作りも含めて基礎的な技術を習得する機会として実施      | 松林 |
| 市民大学歴史講座－戦後の歩みと憲法         | 12月～2月  | 5  | 19  | 自由民権の中で、つくられていった民衆の憲法草案にも学びながら日本国憲法の制定過程をとおりて日本国憲法の先進性を学ぶ機会とする | 松林 |
| 人権講座                      | 12月     | 1  | 5   | 基本的人権について改めて学ぶ機会とする  | 松林 |
| 男女共生をめざして～あなたの未来を考えてみませんか | 3月      | 3  | 18  | 変わる家族、変わる女性の意識を背景に「家」制度・葬儀・墓を学び、遺言ノートを作成することにより今の自分と向き合う場とする   | 松林 |
| 白梅出前講座                    | 11月～3月  | 5  | 102 | 公民館未利用者の開拓と公民館の周知、市民の健康増進を図ることを目的に実際生活に即した問題をテーマとする            | 白梅 |
| 私流・多摩川の楽しみ方               | 10月～11月 | 6  | 108 | 市民の目からの研究の楽しさと自分でもできる範囲の実験や観察などを学び、各自が多摩川に関心を広げ深める機会とする        | 白梅 |
| 自然かんさつ会                   | 5月～3月   | 9  | 122 | 特定の生物だけでなく、地域を構成する生物の総体としての「地域」を分析できる力を身につける機会とする              | 白梅 |
| リアルバードカービング               | 6月～8月   | 9  | 53  | バードカービングの基礎を学び、木から別の生命を生む楽しさを味わってもらい、身近な環境を考える機会とする            | 白梅 |
| 生物よもやま話                   | 6月～7月   | 2  | 16  | 身近な生物に関する話題を取り上げ、生物学の元大学教授からわかりやすく話してもらい身近な生物の環境に関心を向ける機会とする   | 白梅 |
| 市民参加の行財政分析                | 5月～7月   | 8  | 72  | 財政の数値の意味を知り、地方自治や地方財政の仕組みや働きを学ぶ機会とする                           | 白梅 |
| 生きがい・趣味開発教室               | 5月～3月   | 74 | 931 | 現役で働く40歳以上の方々を対象に仲間作り、健康増進を進めると同時に参加者の話し合いで企画された内容を実施する        | 白梅 |
| 学習ハイキング教室                 | 4月～3月   | 26 | 345 | 市民配布用案内マップの作成、仲間作り、集団活動の学習、健康学習、生きがい、自主活動化を目標とする               | 白梅 |
| 説得力のあるチラシ作り               | 5月～6月   | 4  | 29  | チラシ作りの基本的なことを中心に実際のレイアウト作業などを学ぶ                                | 白梅 |

## 2001（平成13）年度

| 講座名               | 実施期間    | 回数 | 人数   | 内容  | 主催 |
|-------------------|---------|----|------|---|----|
| 市民文化教室 9コース       | 8月～12月  | 90 | 1080 | 三味線、民謡・新舞踊、剣舞・詩舞、福生天王ばやし、民謡、書道、茶道、いけばな、着付け  | 本館 |
| 市民合唱教室            | 5月～6月   | 8  | 359  | コーラスサークルや一般の参加者を対象に、市民音楽祭での合唱音楽に仕上げるため合唱講座を実施                                       | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会    | 6月      | 3  | 42   | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける  | 本館 |
| 文学講座「初期万葉」        | 2月～3月   | 5  | 108  | 万葉集を古事記や日本書紀と読み比べてその差異や言い伝えについて学ぶ   | 本館 |
| 新緑草笛講座            | 6月～7月   | 5  | 36   | 草笛の吹き方の指導や講義を通して草笛に関心を持つと同時に自然環境にも関心が持てることを目指す                                      | 本館 |
| ストーンペインティング講座     | 6月      | 4  | 56   | 身近に存在する石を使って参加者自身がテーマを持って創作する   | 本館 |
| ラッピング講座           | 10月～11月 | 3  | 57   | 贈られる人の嬉しい驚きを想像しながら、個性あふれる創作や工夫を凝らすラッピングを通して人との関わりの楽しさを再認識し、希薄化された人間関係を豊かにすることを目的とする | 本館 |
| クラシック音楽鑑賞入門講座     | 10月～11月 | 5  | 73   | クラシックへの偏見や認識を改め、クラシック音楽の魅力や楽しさをともに享受していく  | 本館 |
| レクリエーション・リーダー養成講座 | 6月～7月   | 5  | 115  | ゲーム・ソングなどコミュニケーションのための技術、知識を身につけ様々な場でリーダーとして活躍できるよう実施                               | 本館 |



|                           |         |    |     |   |    |
|---------------------------|---------|----|-----|---|----|
| 地域共生講座～バリアフリーのまちをめざして     | 11月     | 3  | 30  | 福生の地域はもとより社会において誰もが住みよい社会にしていくためにはどうしたらいいか、共生社会の基本的な理念や現状を学ぶ                      | 本館 |
| 地域福祉講座「社会保障と介護保険を考える      | 9月～10月  | 5  | 45  | 高齢化社会に向けてどうすれば安心して暮らし続ける地域社会を築くことができるのか、社会保障制度や介護保険制度ならびに福祉制度全般にわたり地域の福祉について考えあう  | 本館 |
| 映画講座「青春 - この危うきもの」        | 9月～11月  | 6  | 70  | 混沌とした青春のエネルギーが何に向かい状況の中でどうゆがめられていくかを描いた各国の作品を取り上げ、現代の青少年問題など青年と社会について考えていく        | 本館 |
| シナリオ講座                    | 8月～2月   | 6  | 60  | シナリオ作りを通じ、人間を観察し登場人物の立場に立ちながら表現することで相手の立場にたって物を考える視点（人権感覚）をつかむきっかけとする             | 本館 |
| 「語り」の講座                   | 5月～6月   | 5  | 70  | 自分らしさを見つめ、話しかける相手に伝えることを大事にすることで人権感覚を養うきっかけとする                                    | 本館 |
| 地球環境入門講座                  | 9月～10月  | 5  | 20  | 破壊が進む深刻な地球環境を学びそれが私たちの日常生活とどのように関わっているのかを学ぶ                                       | 本館 |
| 識字学級「言葉の会」                | 4月～3月   | 42 | 336 | 読み書きは基本的人権の一つであり、それを奪われた人々の人権を具体的に回復していく場とする                                      | 松林 |
| P T A 講座「ゆたかな P T A をつくる」 | 5月～6月   | 7  | 42  | P T A の基本的役割・歴史・運営の原則、広報誌の作り方の原則を学ぶ   | 松林 |
| 教育講座Ⅰ「授業学習指導要領の変化」        | 10月～11月 | 4  | 12  | 学習崩壊、不登校、学力低下等が問題となっている中で、新学習指導要領の実施が話題になる中、改めて「子どもと教育」について考える機会とする               | 松林 |
| 教育講座Ⅱ「子どもと学校」             | 2月～3月   | 5  | 40  | 子どもにとって豊かな成長が保障される、学校や地域を作っていくために、それぞれがどんな努力をしたらいいかを考える機会とする                      | 松林 |
| 初心者陶芸教室                   | 6月～7月   | 7  | 140 | 陶芸学習を通して創作する楽しみを感じ、成人の出会いの場とする  | 松林 |
| 初心者デッサン教室                 | 1月～3月   | 10 | 240 | 対象物を観察・写生し単色による描写力を養うとともに参加者同士の仲間作りも含めて基礎的な技術を習得する機会として実施する                       | 松林 |
| 市民大学「歴史講座」日本の近代と三多摩       | 3月      | 5  | 30  | 私議憲法草案を作り出した民衆の学習組織や自由民権運動をとおして日本近代化の道筋を考える機会とする                                  | 松林 |
| 人権講座                      | 12月     | 1  | 5   | いじめ、家庭内暴力、性差別や外国人に対する差別、部落差別、障害者差別など、いまだ人権侵害の事件が起きている。映画上映を通して基本的人権について改めて学ぶ機会とする | 松林 |
| 日本の社会保障                   | 2月～3月   | 6  | 15  | 日本の社会保障の歴史を学びながら今日の社会保障を考える契機とする  | 松林 |
| 社会保障準備会                   | 4月～6月   | 5  | 20  | 「日本の社会保障」に向けた準備会  | 松林 |
| 史跡めぐり（熊川地区）               | 3月      | 1  | 3   | 地域の歴史に感心をもつひとを対象に熊川地区の歴史を尋ねる  | 白梅 |
| 白梅出前講座                    | 9月～11月  | 11 | 170 | 公民館未利用者の開拓と公民館の周知、市民の健康増進を図ることを目的に実際生活に即した問題をテーマとする                               | 白梅 |
| 白梅初心者陶芸教室                 | 9月～11月  | 8  | 120 | 地域の日常生活における創作意欲を実現できるようまた共同創作等仲間作りの契機として実施する                                      | 白梅 |
| 初心者リアルボードカービング教室          | 5月～8月   | 11 | 98  | ボードカービングの基礎を学び、木から別の生命を生む楽しさを味わってもらい、身近な環境を考える機会とする                               | 白梅 |
| 趣味開発・健康教室                 | 5月～3月   | 45 | 425 | 現役で働く40歳以上の方々を対象に仲間作り、健康増進を進めると同時に参加者の話し合いで企画された内容を実施する                           | 白梅 |
| 学習ハイキング                   | 4月～3月   | 19 | 333 | 市民配布用案内マップの作成、仲間作り、集団活動の学習、健康学習、生きがい、自主活動化を目標とする                                  | 白梅 |
| 初心者楽しい俳句教室                | 1月～3月   | 12 | 156 | 俳句とは何か、俳句方法はどのようにするかなどを学ぶ   | 白梅 |



## 2002(平成14)年度

| 講座名                         | 実施期間    | 回数 | 人数   | 内容  | 主催 |
|-----------------------------|---------|----|------|---|----|
| 市民文化教室 9コース                 | 8月～12月  | 90 | 1029 | 三味線、民謡、詩吟、福生天王ばやし、民謡、書道、茶道、いけばな、着付け                             | 本館 |
| 市民ジャズボーカル講座                 | 5月～6月   | 8  | 280  | 市民音楽祭に向けての市民合唱講座  | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会              | 6月      | 3  | 27   | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける                                | 本館 |
| 音響・照明操作講習会                  | 1月      | 2  | 30   | 音響機材、照明機材の操作方法を学び市民活動を充実していく                                    | 本館 |
| クラシック音楽鑑賞講座                 | 9月～10月  | 5  | 81   | クラシック音楽の魅力や楽しさをとともに享受していくことを目指す                                 | 本館 |
| 文学講座「記紀歌謡と万葉の和歌」            | 2月～3月   | 6  | 135  | 古事記、日本書紀の歌謡と万葉集の和歌との関連性について学習する                                 | 本館 |
| 新緑草笛講座                      | 5月      | 5  | 43   | 草笛の吹き方の指導や講義を通して草笛に関心を持つと同時に自然環境にも関心が持てることを目指す                  | 本館 |
| 福生探索マップ作り講座～野鳥編～            | 5月～12月  | 25 | 250  | 福生のまちの再発見、身近な自然環境に関心を持つきっかけとしての野鳥の生態について散策冊子を企画、作成する            | 本館 |
| ストーンペインティング講座               | 6月      | 4  | 63   | 身近に存在する石を使って参加者自身がテーマを持って創作する                                   | 本館 |
| レクリエーションリーダー養成講座            | 6月～7月   | 5  | 50   | 身近に存在する石を使って参加者自身がテーマを持って創作する                                   | 本館 |
| 地域共生講座～知的障害者の現状～            | 11月～12月 | 3  | 63   | 福生の地域はもとより社会において誰もが住みよい社会にしていくためにはどうしたらいいか、共生社会の基本的な理念や現状を学ぶ    | 本館 |
| メディアリテラシー講座                 | 6月      | 4  | 20   | メディアからの情報を冷静に把握し、メディアが伝える以外の見方、考え方を学ぶ                           | 本館 |
| 映画講座「スリラー映画の女たち」            | 2月～3月   | 5  | 50   | 女性が主役として活躍する作品を取り上げ、その楽しみ方や作品にこめられたテーマなどを話し合いながら掘り下げていく         | 本館 |
| 歴史講座「『史記』の世界を探る」            | 2月～3月   | 4  | 78   | 「史記」から古代中国の歴史を学び古代中国人の行き方などに触れ歴史や文明を考察し、現代社会の世相や人間像を見つめなおす機会とする | 本館 |
| 50年前のふっさを記録しよう              | 7月～8月   | 4  | 40   | 昭和25年前後の福生を当時暮らしていた様々な人達から話を聞き、記録を残していくための準備講座として実施する           | 本館 |
| 初心者楽しい俳句講座                  | 5月～9月   | 10 | 165  | 俳句の基本から学び、俳句を楽しみ俳句仲間を作り地域の情報も交換しながらよいまちづくりを目指す                  | 本館 |
| 楽しい！おりがみ講座                  | 11月～12月 | 4  | 66   | おりがみにふれることで伝統遊びを見直す契機とする  | 本館 |
| 犬のしつけ講座                     | 5月      | 1  | 20   | 犬と人間が共存できる関係を築き、また動物愛護の精神を培う契機とする                               | 本館 |
| パソコン入門講座                    | 10月     | 3  | 59   | 初心者向けの基礎講座を行う   | 本館 |
| 識字学級-ことばの会-                 | 4月～3月   | 43 | 215  | 読み書きは基本的人権の一つであり、それを奪われた人々の人権を具体的に回復していく場とする                    | 松林 |
| P T A 講座「P T A の基礎から広報作りまで」 | 5月～6月   | 6  | 138  | P T A の基礎的知識と広報編集の技術を手作り広報を作ることを通して学ぶ                           | 松林 |
| 教育講座                        | 1月～3月   | 6  | 14   | 今日の子どもや学校教育をめぐる状況を考える契機とする                                      | 松林 |
| 市民大学歴史講座「明治10年代の歴史に学ぶ」      | 2月～3月   | 7  | 78   | 自由民権運動のひとつの拠点となった五日市や町田、八王子も含めて民権運動がどのように発展し、崩壊していったかを考える機会とする  | 松林 |
| 初心者木工教室                     | 6月～7月   | 7  | 84   | 木工の基礎を学習し、課題の作品を作成する  | 松林 |
| 初心者デッサン教室                   | 1月～3月   | 10 | 235  | 対象物を観察・写生し単色による描写力を養うとともに参加者同士の仲間作りも含めて基礎的な技術を習得する機会として実施する     | 松林 |
| フラワーアレンジメント教室               | 12月     | 1  | 13   | フラワーアレンジメントの基礎を学び、正月用の飾りとミニアレンジを作る                              | 松林 |
| 白梅初心者陶芸教室Ⅰ                  | 9月～11月  | 8  | 120  | 陶芸学習を通して創作する楽しみを感じ、成人の出会いの場とする                                  | 白梅 |
| 白梅初心者陶芸教室Ⅱ                  | 2月～3月   | 8  | 120  | 陶芸学習を通して創作する楽しみを感じ、成人の出会いの場とする                                  | 白梅 |

|             |        |    |     |  |    |
|-------------|--------|----|-----|--|----|
| 身近な環境を考える講座 | 5月～3月  | 7  | 194 | 福生の自然環境を知り、生活の基盤となる水の問題と生活消費の結果であるごみ問題について考える  | 白梅 |
| 近代詩文書教室     | 1月～3月  | 10 | 138 | 近代詩そのものの学習と近代詩を毛筆で書く書き方を学び作品作りを行う  | 白梅 |
| 遊書教室        | 11月～1月 | 10 | 142 | 近代詩や自分で作成した詩等について書法を学び色紙等を利用し作品作りに取り組む   | 白梅 |
| 初心者絵手紙教室    | 6月～7月  | 4  | 60  | 絵手紙の基礎を学び、忙しい毎日の中で身近な草花・果物・野菜等に改めて目を向け描くことで、生活に潤いを、そして筆不精な人も季節の折々に個性豊かな絵に一言添えて便りを出せるよう実施する | 白梅 |
| リアルバードカービング | 9月～11月 | 10 | 80  | バードカービングの基礎を学び、木から別の生命を生む楽しさを味わってもらい、身近な環境を考える機会とする  | 白梅 |
| 趣味開発・健康教室   | 4月～3月  | 47 | 624 | 現役で働く40歳以上の方を対象に仲間作り、健康増進を進めると同時に参加者の話し合いで企画された内容を実施する                                     | 白梅 |
| 学習ハイキング教室   | 4月～3月  | 23 | 414 | 市民配布用案内マップの作成、仲間作り、集団活動の学習、健康学習、生きがい、自主活動化を目標とする   | 白梅 |
| 俳句教室        | 7月～3月  | 38 | 570 | 俳句とは何か、俳句方法はどのようにするかなどを学ぶ  | 白梅 |

## 2003（平成15）年度

| 講座名                        | 実施期間    | 回数  | 人数   | 内容   | 主催 |
|----------------------------|---------|-----|------|--|----|
| 市民文化教室 10コース               | 7月～12月  | 100 | 1163 | 三味線、民舞踊・新舞踊、剣詩舞、福生天王ばやし、民謡、書道、茶道、いけばな、着付け、尺八                 | 本館 |
| 初心者楽しい俳句講座                 | 5月～10月  | 10  | 204  | 俳句の基本から学び仲間を作り地域の情報交換をしながらよいまちづくりを目指す                        | 本館 |
| パソコン入門講座                   | 6月      | 3   | 53   | 初心者向けの基礎講座を行う  | 本館 |
| 犬のしつけ講座                    | 5月      | 2   | 20   | 犬と人間が共存できる関係を築き、また動物愛護の精神を培う契機とする                            | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会             | 6月      | 3   | 36   | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける                             | 本館 |
| 音響・照明操作講習会                 | 1月      | 3   | 36   | 音響機材、照明機材の操作方法を学び市民活動を充実していく                                 | 本館 |
| クラシック音楽鑑賞講座                | 9月～10月  | 5   | 62   | クラシック音楽の魅力や楽しさをともに享受していくことを目指す                               | 本館 |
| 50年前のふっさを記録しよう             | 7月～10月  | 4   | 7    | 昭和25年前後の福生を当時暮らしていた様々な人達から話を聞き、記録を残していくための準備講座として実施する        | 本館 |
| ストーンペインティング講座              | 6月      | 3   | 29   | 身近に存在する石を使って参加者自身がテーマを持って創作する                                | 本館 |
| レクリエーションリーダー養成講座           | 6月～7月   | 5   | 85   | 身近に存在する石を使って参加者自身がテーマを持って創作する                                | 本館 |
| 地域共生講座～知的障害者の生活現状と地域社会の役割  | 11月～12月 | 3   | 51   | 福生の地域はもとより社会において誰もが住みよい社会にしていくためにはどうしたらいいか、共生社会の基本的な理念や現状を学ぶ | 本館 |
| 野鳥を間近で見よう                  | 11月～12月 | 2   | 39   | 野鳥を間近でみたりふれたりする体験を通して福生のまちの自然環境に興味をもち考えていききっかけとする            | 本館 |
| 新緑草笛講座                     | 5月～6月   | 6   | 93   | 草笛の吹き方の指導や講義を通して草笛に関心を持つと同時に自然環境にも関心が持てることを目指す               | 本館 |
| 人権講座「犯罪被害者の現状と支援を考える」      | 9月～10月  | 5   | 62   | 犯罪被害者の視点から人権問題を捉え、その現状と支援、取り組みについて考えあう                       | 本館 |
| 文学講座「作家・柿本人麻呂論」            | 2月～3月   | 5   | 78   | 万葉集の中でもひととき異彩を放ちなぞに満ちた宮廷歌人柿本人麻呂の人物像を探る                       | 本館 |
| 歴史講座「『史記』の世界を探る」           | 9月～10月  | 5   | 92   | 秦の始皇帝の人物像、「史記」に見られる語りの世界を探り、古代中国の歴史の舞台を垣間見ていく                | 本館 |
| 楽しいゴスペル講座（入門編）             | 2月～3月   | 8   | 320  | 市民音楽祭に向けての市民合唱講座   | 本館 |
| P T A 講座－P T Aの基礎から広報作りまで－ | 5月～7月   | 7   | 47   | P T Aの基礎的知識と広報編集の技術を手作り広報を作ることを通して学ぶ                         | 本館 |

|                      |         |    |     |   |    |
|----------------------|---------|----|-----|---|----|
| 環境教育指導者実践セミナー        | 10月～12月 | 5  | 40  | 環境教育の実践を勧めている方、職務上実践を行う立場の方々に情報の提供と交流の機会とする                   | 本館 |
| 福生市の財政状況を知る          | 5月～7月   | 7  | 53  | 地方財政の入門的な位置づけとして福生市の財政状況を学び課題を明らかにしていく                        | 本館 |
| 福生市の地方自治を考える         | 10月～12月 | 7  | 56  | 地方自治の入口とし実際の状況を丁寧に見ていくことで、福生の住民が地方自治を意識するような機会とする             | 本館 |
| 英語でコミュニケーション         | 9月～10月  | 6  | 90  | 様々な国の人との交流を図る手段として会話から学ぶ                                      | 松林 |
| 打楽器のリズム教室            | 9月～10月  | 5  | 70  | 体を使い、リズムに乗って和太鼓を中心に相手との調和、音のアンサンブルを通して人とのかかわりを深めていく           | 松林 |
| ことば・こころ・出会いを育てる      | 2月      | 3  | 36  | 言葉はその人の「こころ」を表していると考えられている。表面だけでなく人の育ちを学習していく                 | 松林 |
| 松林ひだまりハイキング          | 5月      | 1  | 14  | ハイキングをしながら里山の歴史などを学習する  | 松林 |
| ステンドグラス教室            | 9月～10月  | 8  | 120 | ステンドグラスの基礎から学び、成人の出会いの場、公民館活動の第一歩を目指す                         | 松林 |
| クリスマスフラワーアレンジメント教室   | 12月     | 1  | 13  | 成人の出会いの場、公民館活動の第一歩を目指す  | 松林 |
| ガーデニング教室             | 12月     | 1  | 12  | ガーデニングの技術を習得するため、お正月に合わせた材料を寄せ植えをする                           | 松林 |
| 識字学級ーことばの会ー          | 4月～3月   | 42 | 168 | 読み書きは基本的人権の一つであり、それを奪われた人々の人権を具体的に回復していく場とする                  | 松林 |
| 初心者ビーズ教室             | 6月～7月   | 4  | 36  | ビーズを始めるきっかけとする  | 松林 |
| 熊川分水再発見講座            | 10月～11月 | 6  | 300 | 都市化、市街化の進行の中、熊川分水の文化財的な価値や景観の美しさ、街中の小さな自然の価値を再発見し、その理解と普及に向ける | 白梅 |
| 白梅「介護プランづくり講座」       | 1月～2月   | 3  | 33  | ケアマネージャーや家族の連携を円滑にするとともに介護する側の医師の疎通を高めることを目標とする               | 白梅 |
| クレイクラフト教室            | 9月～10月  | 5  | 53  | クレイクラフトの基礎を学び部屋の装飾品を作成する                                      | 白梅 |
| 初心者陶芸教室              | 2月～3月   | 8  | 122 | 地域の日常生活における創作意欲を実現できるようまた共同創作等仲間作りの契機として実施する                  | 白梅 |
| 初心者ビーズ装飾品づくり教室Ⅰ      | 6月～9月   | 9  | 169 | 生活に潤いと仲間作りを目的に実施する  | 白梅 |
| 初心者ビーズ装飾品づくり教室Ⅱ      | 6月～9月   | 9  | 161 | 生活に潤いと仲間作りを目的に実施する  | 白梅 |
| 地震講座(阪神・淡路大震災から学ぶこと) | 10月     | 1  | 20  | 地震直後の様子を、現地でボランティア活動をされた方から伺い、危機意識を再認識することを目的とする              | 白梅 |
| 白梅ほのぼのハイキング          | 10月～3月  | 4  | 75  | 自然と親しみ、植物観察、バードウォッチング等楽しみながら健康仲間づくりを目的に実施する                   | 白梅 |
| 初心者かな書道講座            | 10月～12月 | 10 | 191 | かな文字の基本を身につけ静かなひと時を共有し仲間作りを目的に実施する                            | 白梅 |

## 2004(平成16)年度

| 講座名                     | 実施期間   | 回数 | 人数  | 内容  | 主催 |
|-------------------------|--------|----|-----|---|----|
| 市民文化教室 9コース             | 7月～12月 | 90 | 936 | 民舞踊・新舞踊、詩吟、福生天王ばやし、民謡、書道、茶道、いけばな、着付け、尺八   | 本館 |
| 初心者楽しい俳句講座              | 6月～3月  | 10 | 139 | 俳句の基本から学び仲間を作り地域の情報交換をしながらよいまちづくりを目指す   | 本館 |
| 初心者楽しいウクレレ講座            | 6月～10月 | 10 | 161 | ウクレレを通し音楽に親しみを持ち、技術の向上を目指すために実施する   | 本館 |
| 基礎から学ぶ年金講座              | 12月    | 4  | 27  | 年金の受給額を計算、精度の問題点など学ぶ  | 本館 |
| 基礎から学ぶ介護保険講座            | 2月     | 3  | 47  | 介護保険制度が成立した高齢福祉制度の経過および背景、制度の見直し内容、介護保険のメリット・デメリット、介護保険と医療の関係、そして介護保険制度の運用の現状や課題・問題点に言及しながら介護保険制度全体について学ぶ | 本館 |
| 裁判員制度講座「ご存知ですか？裁判員制度って」 | 2月～3月  | 5  | 126 | 現職の裁判官、検察官、弁護士の立場から裁判員制度の説明や、模擬裁判を体験して参加者とともに学ぶ   | 本館 |



|                              |         |    |     |  |    |
|------------------------------|---------|----|-----|--|----|
| 人権講座「犯罪被害者の現状と支援」            | 9月～10月  | 3  | 22  | 犯罪被害者の視点から人権問題を捉え、その現状と支援、取り組みについて考えあう   | 本館 |
| 文学講座「東歌・防人歌にみる上代庶民の声」        | 1月～2月   | 4  | 49  | 東歌と防人歌をテーマに庶民の声を取り上げる  | 本館 |
| 歴史講座「『史記』の世界を探る～刺客・荊軻列伝」その一  | 5月      | 3  | 41  | 古代中国人の生き様や歴史観に触れ、古代中国の歴史の舞台を垣間見ていく   | 本館 |
| 歴史講座「『史記』の世界を探る～刺客・荊軻列伝」その二  | 9月～10月  | 4  | 59  | 古代中国人の生き様や歴史観に触れ、古代中国の歴史の舞台を垣間見ていく   | 本館 |
| 楽しいゴスペル講座(続編)                | 5月～6月   | 6  | 182 | 市民音楽祭に向けての市民合唱講座   | 本館 |
| メディアリテラシー入門講座                | 2月      | 6  | 84  | メディアリテラシーの基本を学びメディアをクリティカルに読み解く力を身につける   | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会               | 6月      | 3  | 27  | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける   | 本館 |
| 「ACってなに？」アダルト・チルドレンについての講座   | 12月     | 3  | 24  | ACについて理解を深める契機とする  | 本館 |
| 夜間講座「セルフ・カウンセリング」自分がわかると楽になる | 1月～2月   | 5  | 100 | セルフカウンセリングの手法を学ぶ   | 本館 |
| ギリシア神話講座                     | 6月      | 4  | 83  | ギリシアの歴史やオリンピックの背景となるギリシア神話を学び、異文化の理解を目指す   | 本館 |
| わが身を守る防犯講座                   | 9月      | 3  | 21  | 犯罪の事例から未然に防ぐ方法を学び、地域ぐるみで安全なまちを目指すことを目的とする  | 本館 |
| 福生市の地方自治と財政                  | 9月～12月  | 10 | 72  | 福生の住民が地方自治を意識し、積極的に学習する機会とする   | 松林 |
| 身近な園芸を楽しむ                    | 6月～12月  | 2  | 21  | 自宅にある盆栽や野草などを自分で手入れできるように、また園芸を楽しむ人達のネットワーク構築のため実施する                                 | 松林 |
| 楽しくやれるPTA役員研修会               | 3月      | 4  | 24  | PTAに関して総合的な基礎的知識と具体的な展開の基礎を学ぶ機会とする   | 松林 |
| 自然体験活動指導者講習会                 | 3月      | 4  | 37  | 野外で大人が遊ぶ楽しみを感じることで子どもにも訴えるきっかけとすることを目的とする  | 松林 |
| SLE(環境行動にいたる重要な体験)調査         | 8月      | 3  | 26  | 日本での環境教育プログラム創設に向けた調査  | 松林 |
| ステンドグラス教室                    | 6月～7月   | 8  | 84  | 基本のランプを作成し、オリジナルのランプを作成  | 松林 |
| 敬老の日フラワーアレンジメント教室            | 9月      | 1  | 10  | 敬老の日に贈るフラワーアレンジメントを創作  | 松林 |
| 史跡見学                         | 11月     | 1  | 8   | 福生市の史跡を見て歩き関心をもつきっかけとする  | 松林 |
| 初心者絵手紙教室                     | 11月～12月 | 5  | 81  | 絵手紙の基礎を学び、年賀状を自分で書けることを目標とする   | 松林 |
| 初心者ビーズ教室                     | 2月      | 1  | 18  | スワロフスキーのビーズを使い、指輪を作成する   | 松林 |
| ざ！チラシ&ポスター                   | 5月～7月   | 7  | 49  | 地域のPTAやボランティア活動の役員のために見やすい読みやすいチラシ、ポスターを作る   | 松林 |
| 子育て・親育ち                      | 1月～3月   | 4  | 28  | 子育てをしている大人に「育つ」ことの意味や大切さを再認識する   | 松林 |
| わが街の景観に思いを！                  | 9月～11月  | 6  | 192 | 景観という角度から都市生活が自然と調和し機能し、安全で潤いのあるものとなることを目指し福生の風景を眺めながらこれからの豊かな暮らしの場づくりをイメージしていく機会とする | 白梅 |
| ふるさとの歩み再発見                   | 12月～1月  | 3  | 135 | 市民の手による新しい地域づくりの時代が始まる中、改めて地域の歩みを知り、地域の認識と参加への基礎的知識習得の機会とする                          | 白梅 |
| 介護プランづくり講座                   | 2月～3月   | 4  | 60  | ケアマネージャーや家族、本人連携を密にし、介護する側、される側の意思の疎通を高めることを目標とする                                    | 白梅 |
| 熊川分水に親しもう                    | 9月～3月   | 2  | 60  | 分水の文化財的価値と景観への現代的意義及びこの保全への学習機会とする   | 白梅 |
| 朗読講座                         | 4月～10月  | 12 | 250 | 朗読講座の成果をボランティア活動に生かし健康づくり、仲間作りを目的に実施する   | 白梅 |
| 安全登山のための講座(入門編)              | 5月～6月   | 5  | 112 | 初心者も経験者ももう一度安全登山について考える機会とする   | 白梅 |
| ほのぼのハイキング                    | 7月～2月   | 4  | 81  | 自然と親しみ、植物観察、バードウォッチング等楽しみながら健康仲間づくりを目的に実施する  | 白梅 |



|                        |         |    |     |  |    |
|------------------------|---------|----|-----|--|----|
| うどん・そば作り講座(男性のための料理入門) | 8月      | 2  | 30  | 厨房に入るきっかけづくりと大勢で作る楽しさ、仲間作りを目的に実施する   | 白梅 |
| 地震講座(阪神・淡路大震災に学ぶ)      | 10月     | 1  | 26  | 危機意識を再認識すること、地域の協力の大切さを学ぶ機会とする   | 白梅 |
| 初心者かな書道講座              | 10月～12月 | 10 | 192 | かな文字の基本を身につけ静かなひと時を共有し仲間作りを目的に実施する   | 白梅 |
| クレイ粘土手芸教室              | 6月～8月   | 8  | 112 | クレイクラフトの基礎を学び部屋の装飾品を作成する   | 白梅 |
| コミュニケーション上手になりましょう     | 1月～2月   | 4  | 35  | 自分を表現する力を養い、お互いを理解し合えるコミュニケーションを目指す  | 白梅 |
| 文章講座「初めてのエッセー」         | 9月～2月   | 11 | 108 | 文章に親しみ書くことにより改めて様々なこと、社会、身近な生活、環境、動植物などに目を向け新たな気づきをしたり、日ごろ物事をどう捉えているか再考したり視野を広げ人生に潤いを添える | 白梅 |

## 2005(平成17)年度

| 講座名                           | 実施期間    | 回数 | 人数   | 内容   | 主催 |
|-------------------------------|---------|----|------|--|----|
| 市民文化教室 9コース                   | 6月～12月  | 90 | 1020 | 民舞踊・新舞踊、剣詩舞、福生天王ばやし、民謡、書道、茶道、いけばな、着付け、尺八   | 本館 |
| 初心者楽しい俳句講座                    | 7月～12月  | 6  | 101  | 俳句の基本から学び仲間を作り地域の情報交換をしながらよいまちづくりを目指す  | 本館 |
| 初心者楽しいウクレレ講座                  | 8月～12月  | 10 | 258  | ウクレレを通し音楽に親しみを持ち、技術の向上を目指すために実施する  | 本館 |
| 初心者楽しいハングル語講座                 | 10月～12月 | 8  | 88   | ハングル語をとおして仲間作りと隣国の文化を学ぶ  | 本館 |
| 新緑草笛講座                        | 5月～6月   | 6  | 80   | 草笛の吹き方の指導や講義を通して草笛に関心を持つと同時に自然環境にも関心が持てることを目指す   | 本館 |
| 知っておきたい裁判員制度講座                | 2月～3月   | 6  | 72   | 現職の裁判官、検察官、弁護士の立場から裁判員制度の説明や、模擬裁判を体験して参加者とともに学ぶ  | 本館 |
| 犯罪被害者の人権講座「命の大切さを考えよう」        | 7月～8月   | 5  | 50   | 被害者の生の声に耳を傾け、被害者の視点から命の大切さを肌に刻み考えあう  | 本館 |
| 文学講座「ヤマトタケルを読む」               | 1月～2月   | 5  | 65   | ヤマトタケルをテーマに古事記と日本書紀を読み比べ、その伝承を追う   | 本館 |
| 歴史講座「史記の世界を探る」                | 9月～10月  | 4  | 57   | 古代中国人の生き様や歴史観に触れ、古代中国の歴史の舞台を垣間見ていく   | 本館 |
| 子どもと大人と一緒に歌う音楽講座              | 4月～6月   | 10 | 1061 | 市民音楽祭に向けての市民合唱講座   | 本館 |
| 地域福祉講座                        | 11月～12月 | 6  | 52   | 福祉の現場で抱えている問題や課題、展望などをもとにこれからの地域福祉のあり方について考えあう   | 本館 |
| 平和フィールドワーク「被災地・深川を歩く」         | 3月      | 1  | 14   | 東京大空襲の資料をもとに被災地を歩く   | 本館 |
| 木工作入門教室                       | 3月      | 5  | 32   | ティッシュボックスの製作をとおし木工の技術を学ぶ   | 本館 |
| 障害のある児童・生徒の地域活動のための指導者養成モデル講座 | 9月～12月  | 7  | 56   | 障害のある方々と一緒に楽しめる事業の企画から実施までを通じて地域の社会資源の活用や安全管理をきちんと視野に入れたボランティアリーダーの養成を目指す                          | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会                | 6月      | 3  | 9    | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける   | 本館 |
| 話の聞きかた教室                      | 5月～6月   | 4  | 81   | コミュニケーションが上手にできないためにストレスを感じたり自分の気持ちが伝わらず悩みを抱えてしまいがち。そのため上手に聴く方法、また聴き方のポイントを学ぶことにより、コミュニケーションの力を伸ばす | 本館 |
| ニート講座                         | 3月      | 4  | 32   | ニート状況にある若者と、彼らと日々接する支援者の話に耳を傾け、ニートに対する理解を深め、市民社会の一員としてどのように支援できるかを検討する                             | 本館 |
| 男の料理教室                        | 3月      | 4  | 58   | 家庭内で男性が料理を受け持つことで男女共同参画への気づきを促すとともに、調理実習を通して料理に対する自身をつけ生活の自立を目指す                                   | 本館 |

|                              |         |    |     |  |    |
|------------------------------|---------|----|-----|--|----|
| 防犯講座「防犯ネット作り」                | 8月      | 1  | 9   | 犯罪の事例から未然に防ぐ方法を学び、地域ぐるみで安全なまちを目指すことを目的とする                                      | 本館 |
| 福生市の地方自治と財政                  | 9月～10月  | 7  | 40  | 三位一体の財政改革の影響を学び、具体的に福生の収支バランスにどのような影響が出るのかを学ぶ                                  | 松林 |
| 身近な園芸を楽しむ                    | 6月～2月   | 2  | 12  | 自宅にある盆栽や野草などを自分で手入れできるように、また園芸を楽しむ人達のネットワーク構築のため実施する                           | 松林 |
| ワークショップで地域の底力を考えよう           | 2月～3月   | 4  | 45  | 具体的な取り組みをとおして「隣近所」を実感できる機会とする  | 松林 |
| 親子で、多摩川で見られる鳥を作ってみよう         | 3月      | 1  | 7   | 多摩川を通して身近な自然環境に関心を広げるため、多摩川で見られる鳥をつくるという作業を通して野鳥を取り巻く自然界の仕組みと働きを知る機会とする        | 松林 |
| 説得力のあるチラシ作り                  | 6月～7月   | 6  | 37  | P T A 役員や町会などで広報を担当することになってしまった方を対象に説得力のあるチラシの作り方を学ぶ機会とする                      | 松林 |
| 平和を考える日                      | 8月      | 1  | 16  | 被爆体験者の話、戦争の被害者である子どもたちの実態を聞き、平和を構築することの大変さ難しさを考える                              | 松林 |
| 史跡見学                         | 5月      | 1  | 11  | 福生市の史跡に関心を持つ機会とする  | 松林 |
| 松林ひだまりハイキング                  | 5月      | 1  | 5   | ハイキングをしながら里山の歴史などを学習する   | 松林 |
| 初心者似顔絵入門                     | 11月～1月  | 9  | 83  | 似顔絵をとおしてコミュニケーションをとれる力を引き出すことを目的とする  | 松林 |
| 「コサージュ」初心者教室                 | 11月～1月  | 8  | 110 | 物作りを通じ、世代の違う大人の関わり、近隣を含め講座を通じた人間関係を作る機会とする                                     | 松林 |
| 「遊びの造形教室」初心者向け               | 1月～3月   | 8  | 74  | 家族や知人、自分自身のために遊び心を掻き立てるパズル作りに挑戦する  | 松林 |
| 熊川分水の保全を考える                  | 5月～3月   | 3  | 63  | 歴史・風土を再発見し地域参加の礎となるよう実施  | 白梅 |
| 身近な環境を考える講座「ごみ減量から循環型社会について」 | 11月～12月 | 5  | 75  | 持続可能な社会の開発が歌われている現在、大量廃棄を伴う消費行動の状況から、循環型社会の構築を視野にいかにごみを減らし、リサイクルに向けるかを考える機会とする | 白梅 |
| 初心者陶芸教室                      | 6月～7月   | 8  | 128 | 日常生活での創作意欲を実現し、共同創作による地域での仲間作りの機会とする   | 白梅 |
| うたと朗読構成劇講習会                  | 1月～2月   | 5  | 110 | 創作脚本に基づくうたと朗読の講習会  | 白梅 |
| 朗読講座                         | 4月～10月  | 12 | 212 | 朗読講座の成果をボランティア活動に生かし健康づくり、仲間作りを目的に実施する   | 白梅 |
| オカリナ講座                       | 7月～10月  | 12 | 232 | オカリナ演奏の基礎から学び、自主化を目指し、成果をボランティア活動に生かせるよう実施する                                   | 白梅 |
| ほのぼのハイキング                    | 7月～3月   | 4  | 100 | 自然と親しみ、植物観察、バードウォッチング等楽しみながら健康仲間づくりを目的に実施                                      | 白梅 |
| そば作り講座                       | 2月      | 2  | 29  | 厨房に入るきっかけづくりと大勢で作る楽しさ、仲間作りを目的に実施   | 白梅 |
| 地震講座                         | 10月     | 4  | 122 | 危機意識を再認識すること、地域の協力の大切さを学ぶ機会とする   | 白梅 |
| 絵日記講座                        | 10月～12月 | 7  | 104 | 忙しい日々の生活の中で自分を見つめなおし、絵と作文を書いて心を解放し、自分史をつくるために実施                                | 白梅 |
| ものづくり講座                      | 1月      | 3  | 58  | 身近にあるお金のかからない材料を使用して作品を製作し、生活の中に生かすことを目的とする                                    | 白梅 |
| パソコン講座入門                     | 7月      | 3  | 91  | パソコンを身近なものとしてとらえ、地域の行事等でも活用できるよう、そのきっかけ作りとする                                   | 白梅 |
| 英会話講座                        | 8月～10月  | 12 | 219 | 簡単な日常会話を習得しそれぞれの文化や生活習慣の違いを知ることによりお互いに理解を深めあい身近なところから国際交流を図る                   | 白梅 |
| 寄せ植え講座                       | 12月     | 1  | 14  | 観葉植物の特性とハイドロボールのよさを知り、上部で形のよいオリジナルの寄せ植えの方法について学ぶ                               | 白梅 |
| ハングル講座                       | 12月～2月  | 10 | 142 | 国際交流時代に相応しいコミュニケーション能力を養うことを目的とする  | 白梅 |
| 介護予防講座                       | 1月～2月   | 3  | 58  | 加齢による筋肉・体力の衰えに気づき、体力を維持する方法を学び、継続して実践し介護予防に結びつける                               | 白梅 |

## 2006（平成18）年度

| 講座名                                 | 実施期間    | 回数  | 人数   | 内容   | 主催 |
|-------------------------------------|---------|-----|------|--|----|
| 市民文化教室 10コース                        | 8月～11月  | 100 | 941  | 民舞踊・新舞踊、三味線、福生天王ばやし、民謡、書道、茶道、いけばな、着付け、詩吟、尺八  | 本館 |
| 初心者楽しい俳句講座                          | 10月～3月  | 6   | 78   | 俳句の基本から学び仲間を作り地域の情報交換をしながらよいまちづくりを目指す  | 本館 |
| 初心者楽しいウクレレ講座                        | 8月～12月  | 20  | 365  | ウクレレを通し音楽に親しみをもち、技術の向上を目指すために実施する  | 本館 |
| 裁判員制度講座                             | 11月     | 3   | 23   | 現職の裁判官、検察官、弁護士の立場から裁判員制度の説明や、模擬裁判を体験して参加者とともに学ぶ  | 本館 |
| 点字講座                                | 10月～11月 | 5   | 26   | 視覚障害者に対する理解を深めるとともに広く市民に呼びかけバリアフリーを推進していく学習とする   | 本館 |
| ワインの基礎知識                            | 3月      | 1   | 27   | 基礎知識を得ることにより人間関係を深める契機とする  | 本館 |
| 市民音楽講座「福生の空に響けみんなの大合唱」              | 4月～6月   | 10  | 1006 | 市民と共同で講座を企画。講座の成果を市民音楽祭で発表する   | 本館 |
| 救急救命「AED操作講習会」                      | 7月      | 1   | 15   | AEDの操作になれ、迅速に救急救命が行える環境作りを目指す  | 本館 |
| 生誕250周年モーツァルトの魅力を探る                 | 10月～12月 | 5   | 73   | 広くクラシック音楽に興味を持つ契機とする   | 本館 |
| 歴史講座「三国志演義に親しむ」                     | 11月～12月 | 6   | 99   | 中国の歴史、中国文学の理解を深める  | 本館 |
| 人権講座「子どもの命を守ろう」                     | 1月～2月   | 5   | 52   | 犯罪被害者とその家族を少なくしていく取り組みとする  | 本館 |
| 音楽講座「男声ハーモニー」                       | 1月～2月   | 6   | 88   | 男性のコーラスで、参加者同士のふれあい、相互交流を築くきっかけとする   | 本館 |
| 平和フィールドワーク                          | 3月      | 1   | 6    | 東京大空襲の場所を尋ね、当時の悲惨さを考える   | 本館 |
| ほほえみハイキング                           | 6月～10月  | 3   | 48   | 個々のレベルにあった安全登山を行い、植物鑑賞、バードウォッチングを楽しみながら健康づくり、仲間作りを目的に実施する  | 本館 |
| 国際交流「ブラジル・ポルトガル講座」                  | 2月～3月   | 6   | 41   | ブラジル移民の歴史、現地での苦労や喜びを学び今後の日伯友好・交流のあり方を学習する  | 本館 |
| 16ミリ発声映写機操作講習会                      | 7月      | 1   | 2    | 16ミリ発声映写機の操作技術の習得と視聴覚教材の知識を身につける   | 本館 |
| 教育講演「学びの質を考える<br>フィンランドの教育改革から学ぶもの」 | 3月      | 1   | 53   | フィンランドの教育改革の目指したものを学び、これからの社会に求められる「学び」を考える  | 本館 |
| 身近なものでリサイクル                         | 10月～11月 | 3   | 57   | 楽しみながらちょっとした工夫を生活に取り入れる知識を学び、自分自身の生活を見直し、環境問題を考えていくきっかけとする   | 本館 |
| ボランティア講座                            | 5月～7月   | 6   | 45   | 主に知的障害者の活動を支えるために実際に活動を体験する中で学びあう機会とする   | 本館 |
| ハーブでリフレッシュ                          | 9月～10月  | 3   | 28   | ハーブを利用してストレス解消や日々の生活をより充実させることを目指して、生活の中でできる癒しを学ぶ  | 本館 |
| 福生市の地方自治と財政                         | 9月～12月  | 8   | 46   | 今後の自治体運営に住民としての役割を担い住民同士が支えあう関係を生み出すための学習の機会とする  | 松林 |
| 園芸クラブ                               | 6月～2月   | 4   | 24   | 自宅にある盆栽や野草などを自分で手入れできるように、また園芸を楽しむ人達のネットワーク構築のため実施する   | 松林 |
| 教育講座「学校・社会・環境」<br>教育                | 5月～3月   | 9   | 59   | 今日の私たちの生活課題を整理していく中で、どうしても学校や地域での問題、そして地球環境問題などが大きな比重を占めていることがわかる。そこで、一人ひとりの意識を変化することでそれぞれの課題を解決・解消に向かう道と考え、それぞれの分野について現状認識を広げる機会とする | 松林 |
| 憲法を考える                              | 2月～3月   | 5   | 119  | 憲法の成り立ちと憲法制定過程で大切にされてきた視点を歴史的に検証する機会として実施する  | 松林 |

|                 |         |    |     |   |    |
|-----------------|---------|----|-----|---|----|
| 中西悟堂の足跡とふっさ     | 5月～3月   | 6  | 140 | 約60年前に福生で出会った人やその後西多摩での活動を共にした人から、中西悟堂氏が福生や近隣でどのような営みをしていたのか、その足跡を知る機会とする                                   | 松林 |
| 巣箱作り            | 12月     | 1  | 10  | 福生市の鳥シジュウカラが利用する巣箱とえさ台をつくり、愛鳥の思想を広めるとともに、野鳥と人間との関係を学ぶきっかけとする  | 松林 |
| 平和を考える日         | 8月      | 1  | 19  | 自身が戦争を体験した方から、絵本の朗読、空襲体験を語っていただき、生の声で伝える機会として実施する   | 松林 |
| 点字をやってみよう       | 6月～7月   | 3  | 17  | 点字をやってみることで点字に親しみをもち、視覚障がい者の生活を考える機会とする   | 松林 |
| 初心者似顔絵教室        | 5月～7月   | 10 | 85  | 似顔絵を通してコミュニケーションを取れる力を引き出すことを目的とする  | 松林 |
| 初心者「コサージュ'06」   | 11月～1月  | 8  | 124 | 個人的な作品の完成だけでなく、物作りを通じ、世代の違う大人と関わり、近隣を含め講座を通じた人間関係を作る機会とする   | 松林 |
| 初心者水彩画教室「我が町福生」 | 12月～2月  | 6  | 56  | 水彩画の作品を通して、コミュニケーションし、地域と関わる第一歩、人間関係を作る機会とする  | 松林 |
| 熊川分水を考える        | 6月～3月   | 3  | 50  | 市民の手による新しい地域づくりの時代が始まる中、分水の研究を深めつつ、改めて地域の歩みを知り、広くまちづくりへの関心となるよう歴史・風土を再発見し、地域参加の礎となるよう実施する                   | 白梅 |
| 地域防災講座          | 9月～11月  | 4  | 92  | あわてずに適切な行動が取れるよう講習会で体験して、安全に避難場所まで避難できるよう身につけ、また、福生市の防災計画を知り家庭でできる防災対策を家族で話し合い、被害を最小限に食い止める基本的な知識を習得する機会とする | 白梅 |
| 苔玉づくり講座         | 6月      | 1  | 25  | 観葉植物を苔玉に植える方法を学び夏の季節感を味わうことと、公民館での仲間づくりを目的として実施する   | 白梅 |
| 大人のための食育講座      | 9月～3月   | 6  | 30  | 食や農を通じた体験を通じて世代がつながる講座を実施した。更に福生市内にわずかに残っているを緑地保全しながら、農業保全を行う足がかりを作る  | 白梅 |
| 食と農の教育講座        | 10月     | 1  | 5   | 都市住民と農家との関係を見出すための援農に注目して、その実践者を招いて報告後、意見交換を行う  | 白梅 |
| 白梅俳句講座          | 9月～1月   | 10 | 100 | 文化・芸術活動支援としての俳句講座を実施するにあたり、市民参画と参画の継続性を念頭に講座準備会から市民を公募し、講座を実施する   | 白梅 |
| パソコン講座入門        | 7月      | 3  | 85  | 基本操作を習得し、便利な機能を知ることによりパソコンを身近なものとして捉え、地域の行事等でも活用できるよう、そのきっかけづくりを目的として実施する                                   | 白梅 |
| 英会話講座           | 10月～12月 | 10 | 171 | 簡単な日常会話を習得し、それぞれの文化や生活習慣の違いを知ることによりお互いに理解を深め合い身近なところから国際交流を図ることを目的に実施する                                     | 白梅 |
| ハングル講座          | 9月～11月  | 11 | 160 | 国際交流時代に相応しいコミュニケーション能力を養うことを目的として実施する   | 白梅 |